

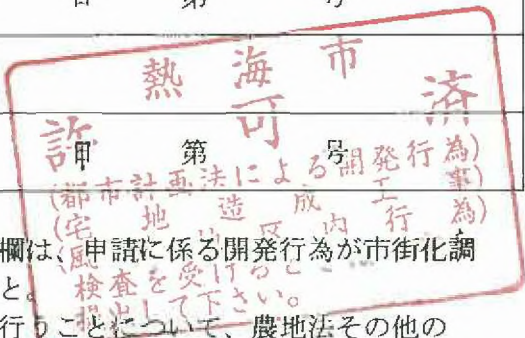
開発行為許可申請書

<p>都市計画法第29条第1項の規定により、開発行為の許可を申請します。</p> <p style="text-align: center;">平成18年3月6日</p> <p>静岡県知事 石川嘉延 様</p> <p>許可申請者</p> <p>住所 [REDACTED]</p> <p>氏名 [REDACTED]</p> <p>電話番号 [REDACTED]</p>	<p>※手数料欄</p> <p>注 1 手数料は静岡県手数料徴収条例別表第370項を参照のこと。</p> <p>2 正本のみ県証紙をこの欄に貼付すること。</p>
---	---

開 発 行 為 の 概 要	1 開発区域に含まれる地域の名称	熱海市伊豆山字嶽ケ [REDACTED] 外 25 [REDACTED] 号 (別紙参照)
	2 開発区域の面積	19992.84 平方メートル
	3 予定建築物の用途	専用住宅
	4 工事施工者住所氏名	[REDACTED]
	5 工事着手予定年月日	許可の日から
	6 工事完了予定年月日	着手日から12ヶ月
	7 自己の居住の用に供するもの、自己の業務の用に供するもの、その他のものの別	その他のもの
	8 法第34条の該当号及び該当する理由	
	9 その他必要な事項	宅地造成に関する工事の許可申請 } 併願 風致地区内行為許可申請 }

※ 受付番号	年 月 日 第 号
※ 許可に附した条件	
※ 許可番号	年 月

- 備考 1 ※印のある欄は記載しないこと。
- 2 「法第34条の該当号及び該当する理由」の欄は、申請に係る開発行為が市街化調整区域内において行われる場合に記載すること。
- 3 「その他必要な事項」の欄には、開発行為を行うこととして、農地法その他の法令による許可、認可等を要する場合には、その手続きの状況を記載すること。
- 4 「工事着手予定年月日」の欄には、「許可の日から」、又は「許可の日から何ヶ月後」等と記載すること。
- 5 「工事完了予定年月日」の欄には、「工事着手後何ヶ月後」等と記載すること。
- 6 申請書に関する連絡先を欄外に記載すること。



別紙

物権の種類	所在及び地番	面積
土地	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted] の一部	10402.00m ²
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted] の一部	2342.00m ²
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted]	89.00m ²
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted] の一部	23501.00m ²
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted] の一部	146.00m ²
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted]	144.00m ²
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted]	317.00m ²
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted]	617.00m ²
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted]	21.00m ²
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted]	222.00m ²
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted]	21.00m ²
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted] の一部	721.00m ²
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted]	70.00m ²
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted] の一部	2304.00m ²
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted]	192.00m ²
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted]	691.00m ²
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [redacted]	29.00m ²
	熱海市伊豆山字水立 [redacted] の一部	1437.00m ²
	熱海市伊豆山字水立 [redacted]	1547.00m ²
	熱海市伊豆山字水立 [redacted] の一部	195.00m ²
	熱海市伊豆山字水立 [redacted]	13.00m ²
	熱海市伊豆山字水立 [redacted]	1233.00m ²
	熱海市伊豆山字水立 [redacted]	715.00m ²
	熱海市伊豆山字水立 [redacted]	1198.00m ²
	熱海市伊豆山字水立 [redacted]	52.00m ²
	熱海市伊豆山字水立 [redacted]	104.00m ²

熱 海 市 済

許 可

(都市計画法による開発行為)
 (宅地造成工事)
 (風致地区内行為)
 検査を受けるときは本書を
 提出して下さい。

10000^円

消印
18.3.17
静岡県
農海土木事務所

10000^円

消印
18.3.17
静岡県
農海土木事務所

10000^円

10000^円

消印
18.3.17
静岡県
農海土木事務所

10000^円

10000^円

10000^円

10000^円

消印
18.3.17
静岡県
農海土木事務所

10000^円

10000^円

10000^円

消印
18.3.17
静岡県
農海土木事務所

10000^円

10000^円

10000^円

10000^円

消印
18.3.17
静岡県
農海土木事務所

10000^円

10000^円

10000^円

消印
18.3.17
静岡県
農海土木事務所

10000^円

10000^円

10000^円

10000^円

消印
18.3.17
静岡県
農海土木事務所

10000^円

10000^円

10000^円

消印
18.3.17
静岡県
農海土木事務所

10000^円

10000^円

10000^円

10000^円

消印
18.3.17
静岡県
農海土木事務所

10000^円

10000^円

10000^円

消印
18.3.17
静岡県
農海土木事務所

10000^円

10000^円

10000^円

10000^円

消印
18.3.17
静岡県
農海土木事務所

10000^円

10000^円

10000^円

開票
¥390,000
3.17

正

宅地造成に関する工事の許可申請書

宅地造成等規制法第8条第1項の規定による許可を申請 します 平成18年3月6日 静岡県知事 石川嘉延 殿					※手数料欄		
申請者 氏名							
1 造成主住所氏名							
2 設計者住所氏名							
3 工事施行者住所氏名							
4 宅地の所在及び地番 熱海市伊豆山字嶽ヶ 外25号							
5 宅地の面積 19,992.89 平方メートル							
イ 切土又は盛土をする土地の面積 15,992.40 平方メートル							
ロ 切土又は盛土の土量							
切土 56.320 立方メートル 盛土 2.560 立方メートル							
6 工事の概要							
ハ 擁壁							
番号 構造 高さ 延長 1011101 擁壁 0~5 1-10 298.5 1-10							
ニ 排水施設							
番号 種類 内のり寸法 延長 U型側溝 29~60 2-10 1145 1-10							
ホ しがけ面の保護の方法							
ト 擁壁には 種子吹付							
ヘ 工事中の危害防止のための措置							
ト 仮設水路及び 沈砂池の設置							
ト その他の措置							
チ 工事着手予定年月日 許可の日から							
リ 工事完了予定年月日 着手日から12ヶ月							
ヌ 工程の概要							
7 その他の必要な事項							
※受付欄		※決裁欄		※許可に当たって付した条件		※許可番号欄	
年 月 日		熱海市		18.3.17		熱土 第1042号	
第 号		(都市計画法に 宅地造成工事) (風致地区 内行為) 検査を受けるときは本書を 提出して下さい。				年 月 日 第 号	
係員印						係員印	





18.3.17
静岡県
熱海土木事務所

印
18.3.17
静岡県
熱海土木事務所

18.3.17
静岡県
熱海土木事務所

印
18.3.17
静岡県
熱海土木事務所

18.3.17
静岡県
熱海土木事務所

12.5
¥110,000
3.17

様式第1号（第2条関係）（用紙 日本工業規格A4縦型）
風致地区内行為許可申請書

平成18年3月6日

静岡県知事 石川嘉延 様

住所 [REDACTED]

申請者

氏名 [REDACTED]

電話番号 [REDACTED]

静岡県風致地区条例第2条第1項の規定による許可を受けたいので、次のとおり申請します。

風致地区の名称及び種別	名称	第2号伊豆山風致地区	種別	第2種	
行為地の所在	熱海市伊豆山字嶽ヶ[REDACTED]外25筆				
地目及び面積	地目	原野・山林	面積	[REDACTED]平方メートル 19992.84	
許可を受けようとする行為の種類 [該当事項を□で囲んでください。]	① 建築物 <u>その他の工作物</u> 新築 改築 増築 移転				
	② 宅地の造成 <u>土地の開墾</u> その他の <u>形状の変更</u>				
	③ 木竹の伐採				
	④ <u>土石の</u> [REDACTED]				
	⑤ 水面の埋立て 干拓				
	⑥ 建築物等の色彩の変更				
	⑦ 土石の堆積 廃棄物の堆積 再生資源の堆積				
着手及び完了予定期日	着手	年 月 日	又は着手の日から法2ヶ月間開行(宅地造成工(風致地区内行為)検査を受けるときは本書を提出して下さい。)	完了	年 月 日
摘要					

熱海市 許可 済
再生資源の堆積
許 可 済
熱海市
許 可 済
再生資源の堆積
許 可 済
熱海市
許 可 済
再生資源の堆積

静岡県熱海土木事務所
'18.3.17
熱土 第91-69号

第102号
18.3.10
熱海市役所

(用紙 日本工業規格A4縦型)

施 行 方 法 書
(工作物等の設置の場合)

土地所有者の住所及び氏名	[REDACTED]
行為の目的	宅地の造成
工作物の種類	コンクリートブロック積擁壁
工作物の高さ	H = 0.0 m ~ 5.0 m
工作物の構造	コンクリートブロック積
その他必要な事項	
敷地内の施設 (既設建築物等)	
摘 要	

熱 海 市
許 可 済
(都市計画法による開発行為)
(宅地造成工事)
(風致地区内行為)
検査を受けるときは本書を
提出して下さい。

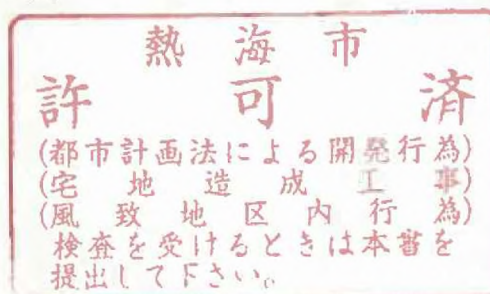
施行方法書

（宅地の造成等の場合）

行為施行者の住所及び氏名	[Redacted]				
土地所有者の住所及び氏名	[Redacted]				
面積及び土量	面積	19992.84 平方メートル	土量	58,880 立方メートル	
行為の目的	宅地の造成				
行為地の現況	裸地、山林、仮設道路				
土留の方法	コンクリートブロック積擁壁				
排水工事	U形側溝 及び 自由勾配側溝				
河川又は溪流との距離	316.5 m				
緑地の面積	6548 [Redacted] m ²	内訳	自然の緑地	2114.3	
			人工の緑地	3423.6	
緑地率	32.25 [Redacted] パーセント	植栽の内訳	高木	低木	その他
			本	本	
摘要					

備考

- (1) 案内図、現況図、公図写し、縦断面図、横断面図、出来上がり予定図、行為地面積等算定図、緑地面積算定図、現況写真及び土地所有者の承諾書を添付してください。
- (2) 他の行為を同時に行うときは、それぞれの様式による施行方法書を添付してください。
- (3) 緑地率とは、緑地の面積の行為地面積に対する割合をいう。



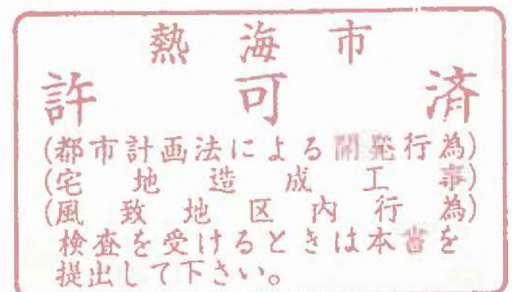
施行方法書

(木材の伐採の場合)

土地所有者の住所及び氏名	
行為の種類	伐採
伐採の理由	宅地造成の為
行為地の面積	19992.84 平方メートル
樹種	小楢
樹齢	5年 ~ 10年
樹高	3m ~ 5m
樹量	100本 2.0立方メートル
跡地利用計画	専用住宅
摘要	

備考

- (1) 案内図、現況図及び現況写真を添付すること。
- (2) 跡地を他の行為に利用するときは、それぞれの様式による施行方法書を添付すること。



様式第8号(第7条関係) (用紙 日本工業規格A4縦型)

風致地区内行為承継届

平成18年3月6日

静岡県知事 石川嘉延 様 様

住所 [REDACTED]
届出者 氏名 [REDACTED]
[REDACTED]

静岡県風致地区条例第6条の4の規定により、届け出ます。

許可を受けた者の住所及び氏名	[REDACTED]
承継しようとする者の住所及び氏名	[REDACTED]
許可を受けた行為の種類	木竹の伐採・土砂の採取
許可年月日及び許可番号	平成 14 ¹⁷ 12 ¹² 28 ²⁸ 日 熱土第 9 ⁹⁴ 23 ²³
承継の理由	目的の変更
着手及び完了予定期日	着手 許可の日から 完了 18 ¹⁸ 年 5 ⁵ 月 10 ¹⁰ 日 許可の日から12ヶ月間
摘要	



審査基準適合通知書

熱建まち第76-2号

平成18年3月27日

■■■■■■■■■■
■■■■■■■■■■様

熱海市長 川口市雄

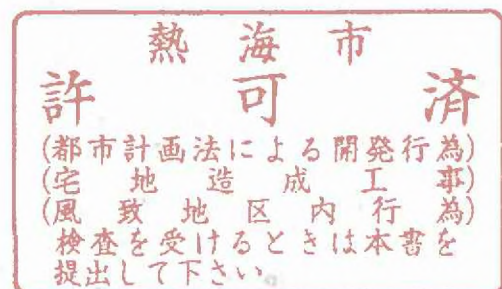


平成17年3月6日付けで申請のあった次の開発事業は、熱海市まちづくり条例第38条に規定する開発事業に係る基準に適合しているので、同条例第39条第1項の規定により、通知します。

開発事業番号	No. 2
開発事業の名称	熱海市伊豆山分譲計画
開発事業の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地分譲 <input type="checkbox"/> 共同住宅 <input type="checkbox"/> その他()
施行区域の場所	熱海市伊豆山字嶽ヶ■■■■■■■■■■ 外27筆
施行区域の面積	19,992.84㎡

※工事着手前に工事協定を締結すると共に、開発事業工事着手届を提出すること。防災工事終了後に中間検査を受けること。

- 1 この決定に不服がある場合は、この決定を知った日の翌日から起算して60日以内に、熱海市長に対して異議申立てをすることができます。
- 2 この決定の取消しを求める訴えをする場合には、この決定を知った日の翌日から起算して6箇月以内に熱海市を被告として(訴訟において熱海市を代表する者は熱海市長となります。)、提起することができます。(決定を知った日から6箇月以内であっても、決定の日から1年を経過すると決定の取消しの訴えを提起することができなくなります。)ただし、異議申立てをした場合には、この決定の取消しの訴えは、その異議申立てに対する決定の送達を受けた日の翌日から起算して6箇月以内に提起しなければなりません。



委任状

■■■■■は、■■■■■を
代理人と定め、下記の権限を委任致します。

記

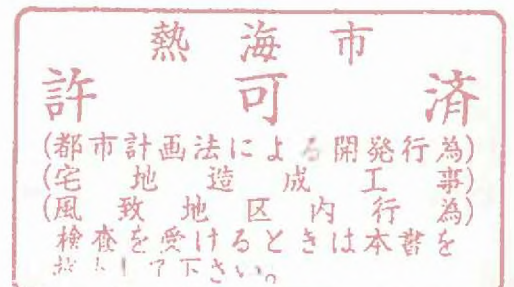
1. 熱海市伊豆山字嶽ヶ■■■■■他
1. 熱海市伊豆山字水立■■■■■他
1. 上記土地の開発許可申請及び検査済取得に関する一切の権限

以上、委任致します。

平成 18年 3 月 6 日

委任者 住 所
氏 名

■■■■■
■■■■■
■■■■■
TEL ■■■■■



権利者一覧表

所在	地番	地目	地積	所有権に関する事項	所有権以外の権利	NO.
字嶽ヶ		原野	10402.00	所有権移転請求権 所有権	根抵当権 根抵当権 賃借権 根抵当権	1
		原野	2342.00	所有権移転請求権 所有権	根抵当権 賃借権 根抵当権	2
		原野	89.00	所有権	根抵当権	3
		原野	23501.00	所有権移転請求権 所有権	根抵当権 賃借権 根抵当権	4
		原野	146.00	所有権移転請求権 所有権	根抵当権 賃借権 根抵当権	5
		原野	144.00	所有権	根抵当権	6
		山林	317.00	所有権	根抵当権	7
		山林	617.00	所有権	根抵当権	8
		原野	21.00	所有権	根抵当権	9
		原野	222.00	所有権移転請求権 所有権	根抵当権 賃借権 根抵当権	10
		原野	21.00	所有権	根抵当権	11
		原野	721.00	所有権移転請求権 所有権	根抵当権 賃借権 根抵当権	12
		原野	70.00	所有権	根抵当権	13
		原野	2304.00	所有権	根抵当権	14
		原野	192.00	所有権	根抵当権	15
		原野	691.00	所有権	根抵当権	16
		原野	29.00	所有権	根抵当権	17
水立		山林	1437.00	所有権移転請求権 所有権	根抵当権 賃借権 根抵当権	18
		山林	1547.00	所有権移転請求権 所有権	根抵当権 賃借権 根抵当権	19
		山林	195.00	所有権	根抵当権	20
		山林	13.00	所有権	根抵当権	21
		山林	1233.00	所有権	根抵当権	22
		山林	715.00	所有権	根抵当権	23
		山林	1198.00	所有権	根抵当権	24
		山林	52.00	所有権	根抵当権	25
		山林	104.00	所有権	根抵当権	26

熱海市
許 可 済

(都市計画法による開発行為)
(宅 地 造 成 工 事)
(風 致 地 区 内 行 為)
検査を受けるときは本書を
提出して下さい。

開発行為の施行等の同意書

平成18年 / 月27日

開発者 住所 [REDACTED]

氏名 [REDACTED] 殿

権利者 住所 [REDACTED]

氏名 [REDACTED]

電話番号 [REDACTED]

私が権利を有する次の物件について開発行為及び開発行為に関する工事を
行なうことに同意します。

なお、当該物件が公共施設の用に供する土地となる場合があっても異議あ
りません。

物件の種類	所在及び地番	面積	権利の種類別	摘要
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [REDACTED]	10402 [㎡]	担当権設定 仮登記	
	同上 [REDACTED]	222	担当権設定 仮登記	

熱 海 市

許 可 済

(都市計画法による開発行為)
(宅地造成等内行) (農地)

検査を受けるときは本書を提出して下さい。

印鑑登録証明書

印影	住所	[REDACTED]		
	氏名	[REDACTED]		
	生年月日	[REDACTED]	性別	[REDACTED]

※この印鑑登録証明書は黒色の電子公印を使用しています。

この写しは、登録されている印影と相違ないことを証明する。

平成17年12月21日

神戸市西区長



許 可 濟
 市 海 市
 類 名 風 検 査 出
 計 画 地 積 受 下
 法 区 区 角 行 未
 行 区 行 行 為

開発行為の施行等の同意書

平成18年 4月 7日

開発者 住所 [REDACTED]
 氏名 [REDACTED] 様
 電話番号 [REDACTED]

権利者 住所 [REDACTED]
 氏名 [REDACTED]
 電話番号 [REDACTED]

わたくしが権利を有する次の物件について、開発行為及び開発行為に関する工事を行うことに同意します。なお、当該物件が公共施設の用に供する土地となる場合があっても異議ありません。

物権の種類	所在及び地番	面積	権利の種類別	摘要
土地	熱海市伊豆山字嶽ヶ [REDACTED] の一部	10402.00㎡	所有権移転請求権 根抵当権・賃借権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [REDACTED] の一部	2342.00㎡	所有権移転請求権 根抵当権・賃借権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [REDACTED] の一部	23501.00㎡	所有権移転請求権 根抵当権・賃借権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [REDACTED]	146.00㎡	所有権移転請求権 根抵当権・賃借権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [REDACTED]	222.00㎡	所有権移転請求権 根抵当権・賃借権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [REDACTED] の一部	721.00㎡	所有権移転請求権 根抵当権・賃借権	
	熱海市伊豆山字水立 [REDACTED] の一部	1437.00㎡	所有権移転請求権 根抵当権・賃借権	
	熱海市伊豆山字水立 [REDACTED]	1547.00㎡	所有権移転請求権 根抵当権・賃借権	

熱 海 市

許 可

(都市計画法による開発行為
 (宅地造成工事
 (風致地区)の行
 検査を受けるときは本書を
 提出して下さい。)

(注) 権利者の印に係る印鑑証明書を添付すること。

熱海市役所新採用

印鑑登録証明書

印影	住所	[REDACTED]		
	氏名	[REDACTED]		
	生年月日	[REDACTED]	性別	[REDACTED]

この写しは、登録されている印影に相違ないことを証明する。

平成18年4月6日

小田原市長 小澤良明



開発行為の施行等の同意書

平成18年 月 日

開発者 住所 [Redacted]
 氏名 [Redacted] 様
 電話番号 [Redacted]

権利者 住所 [Redacted]
 氏名 [Redacted]
 電話番号 [Redacted]

わたくしが権利を有する次の物件について、開発行為及び開発行為に関する工事を行うことに同意します。なお、当該物件が公共施設の用に供する土地となる場合があっても異議ありません。

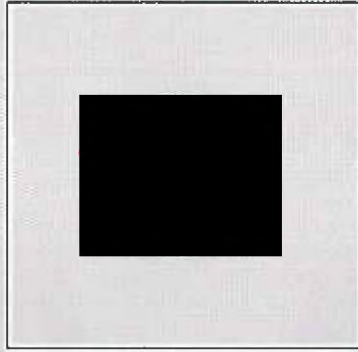
物権の種類	所在及び地番	面積	権利の種類別	摘要
土地	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted] の一部	10402.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted] の一部	2342.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted]	89.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted] の一部	23501.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted]	146.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted]	144.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted]	617.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted]	21.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted]	222.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted] の一部	721.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted] の一部	2304.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted]	192.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted]	691.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted]	29.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted]	317.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted]	21.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字嶽ヶ [Redacted]	70.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字水立 [Redacted] の一部	1437.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字水立 [Redacted]	1547.00㎡	所有権・根抵当権	
	熱海市伊豆山字水立 [Redacted]	195.00㎡	所有権・根抵当権	
熱海市伊豆山字水立 [Redacted]	13.00㎡	所有権・根抵当権		
熱海市伊豆山字水立 [Redacted]	715.00㎡	所有権・根抵当権		
熱海市伊豆山字水立 [Redacted]	1198.00㎡	所有権・根抵当権		
熱海市伊豆山字水立 [Redacted]	52.00㎡	所有権・根抵当権		
熱海市伊豆山字水立 [Redacted]	104.00㎡	所有権・根抵当権		
熱海市伊豆山字水立 [Redacted]	1233.00㎡	所有権・根抵当権		

熱海市 済
 (都市計画法による開発行為)
 (宅地造成内行為)
 (風致地区内行為)
 検査を受けるときは本書を
 持参して下さい。

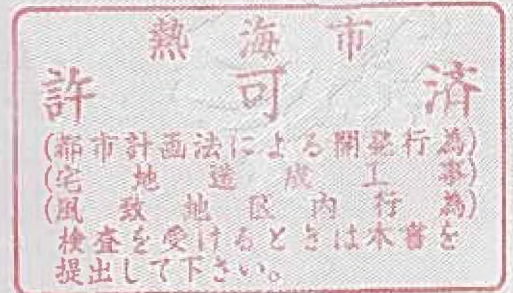
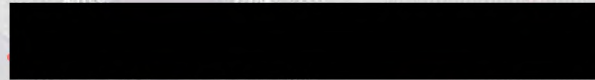
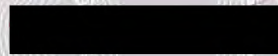
(注) 権利者の印に係る印鑑証明書を添付すること。

印鑑証明書

会社法人等番号



商号
本店



これは提出されている印鑑の写しに相違ないことを証明する。

平成18年 3月23日

東京法務局
登記官

大庭元行



熱建まち第 95 号
平成18年 4月 3日

[Redacted]
様

熱海市長 川 口 市 雄



都市計画法第32条の規定に基づく同意及び協議について（回答）

平成18年3月22日付による申請については、都市計画法第32条に規定する同意及び協議を終了したことを証します。

記

1. 新設する公共施設一覧表
別紙のとおり

2. 従前の公共施設一覧表
別紙のとおり

3. その他（条件等）

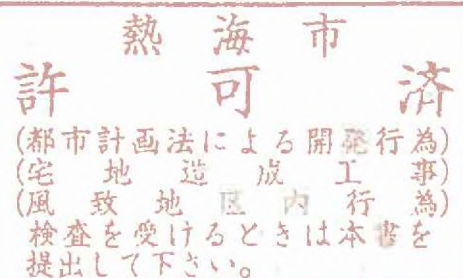
①図面番号①、②、③、④、⑤、⑨、⑩、⑪、⑫については、道路法及び熱海普通河川条例等による承認工事の申請をして許可を得ること。

又、新設する公共施設については、工事完了後に用地を熱海市へ帰属すること。

②みどりを育て守る条例第18条及び同条例施行規則第16条に規定する緑化計画書を提出して下さい。

③公園を熱海市へ帰属すること。

④緑地の管理は起業者で行うこと。



新設する公共施設一覧表

新設する公共施設の名称	新旧対照図に付した番号	概 要			管理者となるべき者の名称	摘 要	
		延 長	幅 員 (管径)	面 積			
道 路	①	442.55m	7m	3,322.0 m ²	熱 海 市		
水 路 公 園 水 道 防火水槽	②	132.6m	600*1200	1,259.8 m ²	熱 海 市		
	③	29.1m	600*1300		熱 海 市		
	④	6.2*3m	400*700		熱 海 市		
	⑤	161m	400*700		熱 海 市		
	⑥	569.5m					
	⑦					熱 海 市	
	⑧				40 m ³	熱 海 市	

熱 海 市

許 可 済

(都市計画法による開発行為)
 (宅地造成工事)
 (風致地区内行為)
 検査を受けるときは本書を
 提出して下さい。

従前の公共施設一覧表(付替道路、水路を設置しない場合)

従前の公共施設の名称	新旧対照図に付した番号	廃止、付替、拡幅等の別	概要			管理者名称	所有者名称	摘要
			延長	幅員(管径)	面積			
水路	⑨		28.45m	400*700	m ²	熱海市	熱海市	
	⑩		28.6m	400*500		熱海市	熱海市	
	⑪		80.5*2m			熱海市	熱海市	
	⑫		6m	600*1500		熱海市	熱海市	
			17.7m	400*700		熱海市		

(注) 従前の公共施設の名称は、道路(路線別)、公園等の種別ごとに記入すること。

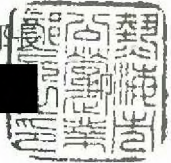
熱海市 済
許 可

(都市計画法による開発行為)
(宅地造成工事)
(風致地区内行為)
検査を受けるときは本書を
提出して下さい。

熱公水第 8 号
平成 18 年 4 月 7 日

住所 [REDACTED]
起業社名 [REDACTED]
氏名 [REDACTED] 様

熱海市 公営企業部

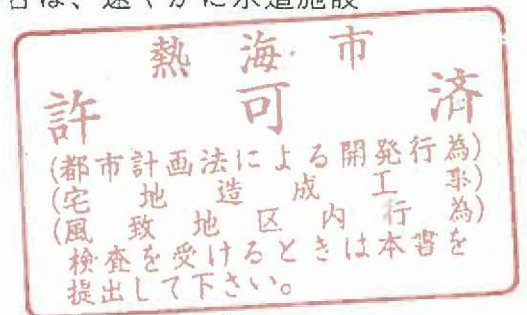


給水承認について

平成 18 年 4 月 6 日付けで提出された 熱海市伊豆山分譲計画
水道施設工事協議申請書については、給水計画等協議の結果特に支障がない
ので下記の条件で給水を承認します。

記

- ・給水施設の詳細等については、給水装置工事申請書にて協議すること。
- ・水道施設工事協議申請書の内容に変更が生じた場合は、速やかに水道施設
工事協議変更申請書を提出すること。



担当課 熱海市水道温泉課
担当者 [REDACTED]
TEL [REDACTED]

設計者の資格に関する申告書

平成18年3月6日

静岡県知事 石川嘉延 様

設計者 住 所
氏 名

電話番号

次のとおり都市計画法第31条に規定する設計者の資格について申告します。

学 歴	学 校 の 名 称	学部及び学科	所 在 地		修 業 年 限
実 務 経 歴	勤 務 先	所 在 地		職 名	在 職 期 間 (合計34年)
				設計部員	昭和42年4月から昭和43年 5月まで
				設計部員	昭和43年8月から昭和46年12月まで
				代表者	昭和47年1月から平成13年 3月まで
				設計部員	平成13年4月から現在
設 計 経 歴	事 業 主 体	工 事 施 行 者	施 工 場 所	面 積	許認可の番号及び 年 月 日
			東京都八王子市打越	8.0ha	平成6年8月
			千葉県佐倉市井野	0.3ha	佐倉第222号 平成8年6月
			群馬県太田市 強戸八幡沢	44.8ha	太田第573号 平成8年8月
			山梨県明野村浅尾原	4.8ha	韮土第2-124号 平成9年4月
			千葉県野田市西三ヶ尾	3.9ha	野田第33号-52 平成17年11月
都市計画法施行規則第19条の該当資格				<input checked="" type="checkbox"/> 第1号 <input type="checkbox"/> 第2号	イロハニホヘ①

- (注) 1 学歴の欄には、設計者の資格に関係のある学歴を記入すること。
 2 実務経歴及び設計経歴の欄には、宅地開発に関する経歴のみを記入すること。
 3 都市計画法施行規則第19条に規定する資格を証する書類を添えること。
 4 開発区域の面積が20ha以上の場合の設計経歴欄には、20ha以上の開発行為に関する工事

済 市
済
(都市計画法による開発行為)
(宅地造成工事)
(風致地区内行為)
捺印を受けるときは本書を
お返し下さい。

修了証書



あなたは都市計画法施行規則及び宅地造成等規制法施行令による建設大臣の認定する宅地造成技術講習会において所定の科目を修了したことを証します

昭和49年9月25日

許 可 濟
熱 海 市
(都市計画法による開発行為)
(宅地造成工事)
(風致地区内行為)
検査を受けるときは本書を提出して下さい。

社団法人 全国宅地造成連合会

会長 野田 卯



社団法人 日本宅地開発協会

会長 友納 武



申請者の資力及び信用に関する申告書

平成18年3月6日

静岡県知事 石川 嘉延 様

申請者 住 所

氏 名

電話番号

都市計画法第33条第1項第12号に規定する必要な資力及び信用について次のとおり申告します。

設 立 年 月 日	昭和62年5月23日	資 本 金	10000 千円			
法令による登録等	神奈川県知事 ██████████ 宅地建物取引業					
従 業 員 数	5 人 (うち土木建築関係技術者 1 人)					
前 年 度 事 業 量	260000 千円	資 産 総 額	578000 千円			
前 年 度 又 は 前 年 の 納 税 額	法人税又は所得税 千円	事 業 税	2700 千円			
主たる取引金融機関	横浜銀行					
工事監理者の住所及び氏名						
役 員 略 歴	職 名	氏 名	年 齢	在社年数	資格 免許 学歴 その他	
	████████	████████	██████	15年	宅地建物取引主任者	
	████████	████████	██████	7年		
	████████	████████	██████	7年		
宅 地 造 成 経 歴	工事の名称	工事施行者	工事施行場所	面 積	許認可の年月日及び番号	着工及び完了の年月
	宅造	自社	松田町	700㎡	第 年 月 日 号	年 月 着工 年 月 完了
	宅造	自社	小田原市	600㎡	第 年 月 日 号	年 月 着工 年 月 完了
					第 年 月 日 号	年 月 着工 年 月 完了
					第 年 月 日 号	年 月 着工 年 月 完了
					第 年 月 日 号	年 月 着工 年 月 完了

- (注) 1 法令による登録等の欄には、宅地建物取引業者の免許、建築士法による建築士事務所の登録、建設業法による建設業者の登録について記載し、当該免許証等の写しを添えること。
2 次に掲げる書類を添付すること。
(1) 前年度に係る法人税又は前年に係る所得税の納税証明書
(2) 財務諸表 (直前の事業年度のもの)

許 可 済
海 行
(風致地区内行為)
検本を受けるときは本書を
提出して下さい。

宅地建物取引業者免許証

商号又は名称



代表者氏名



主たる事務所



免許証番号 神奈川県知事



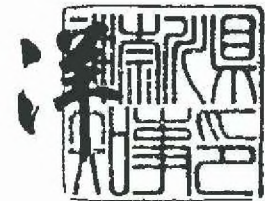
有効期間 平成14年12月26日から平成19年12月25日まで

許宅地建物取引業法第3条第1項の規定により、宅地建物
取
引業者の免許を与えたことを証する。

平成14年12月25日

神奈川県知事

周崎



納 税 証 明 書

第 100 004 号

平成 18 年 4 月 3 日

様



神奈川県小田原県税事務所長



次のとおり証明します。

証 明 す る 事 項	
課 税 事 務 所	神 奈 川 県 小 田 原 県 税 事 務 所
税 目	証 明 内 容
法人 事業税	自平成 16年 5月 1日 課 税 額 ¥226,800円 納付済額 ¥226,800円 至平成 17年 4月 30日 未 納 額 ¥0円
	以 下 余 白
備 考	<div data-bbox="1011 1675 1506 1966" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em; font-weight: bold;">熱 海 市</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em; font-weight: bold;">許 可</p> <p style="font-size: 0.8em;">(都市計画法による開発行為) (宅地造成工事業) (風致地区内行為) 検査を受けるときは本書を提出して下さい。</p> </div>

貸借対照表

平成17年 3月31日現在

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		
【流動資産】	【 208,000 】	【流動負債】	【 197,500 】
現金及び預金	4,800	短期借入金	190,000
未収金	6,150	未払金	7,500
商 品	197,050		
【固定資産】	【 】		
(有形固定資産)	()		
建 物			
土 地		負債合計	197,500
(無形固定資産)	()	資 本 の 部	
電話加入権		【資本金】	【 10,000 】
		【剰余金】	【 】
		当期未処分利益	()
		(うち当期損失)	(500)
		資本合計	10,500
資産合計	208,000	負債・資本合計	208,000

許 熱海市 済
 (都市計画法による開発行為)
 (宅地造成工事)
 (風致地区内行為)
 検査を受けるときは本書を
 提出して下さい。

損 益 計 算 書

自 平成16年 4月 1日
 至 平成17年 3月 31日
 (単位：千円)

科 目	金 額	
[経常損益の部]		円
(営業損益の部)		
【売上高】		
売上高	180,000	
仲介収入	7,500	187,500
【売上原価】		
仕入	150,000	
工事代	10,000	160,000
売上総利益		27,500
【販売費及び一般管理費】		18,000
営業利益		9,500
管 理 費	18,000	
【営業外費用】		
支払利息	9,000	9,000
経常利益		500
税引前当期利益		
当期損益		500
前期繰越利益		0
当期未処分損益		500

熱 海 市

許 可 済

(都市計画法による開発行為)
 (宅 地 造 成 工 事)
 (風 致 地 区 内 行 為)
 検査を受けるときは本書を
 提出して下さい。

資金計画書

1 収支計画

(単位:千円)

	科 目	金 額	
収 入	処 分 収 入		
	宅地処分収入		
	補助負担金		
	借 入 金	120,000	
	計	120,000	
	支 出	用 地 費	
		工 事 費	119,500
(内訳)			
整地工事費		25,000	
道路工事費		40,000	
排水施設工事費		20,000	
給水施設工事費		20,000	
防災工事費		4,500	
温泉工事費		10,000	
付帯工事費			
事務費		500	
借入金利息			
用地支払済粗利益			
計			

許 可 済

(都市計画法に基づき開発行為)

(宅地造成工事)

(風致地区内) 20,000

検査を受けるときは本表を提出して下さい。

2 年度別資金計画

(単位：千円)

年度		18年度	年度	年度	計
支	事業費				
	用地費				
	工事費	119,500			
	付帯工事費				
	事務費	500			
	借入金利息				
	用地支払済				
	粗利益				
出	借入償還金				
	計	120,000			
収	自己資金				
	借入金	120,000			
	その他 (権利金、入会金等)				
	処分収入				
	宅地処分収入				
	その他処分収入				
入	補助負担金				
	計	120,000			
借入金の借入先					

熱海市

許 可 済

都市計画法による開発行為
 (宅地造成工事)
 風致地目内行為
 検査を受ける場合は本書を
 提出して下さい

(注) 収入について、調達方法を裏付ける書面(預金残高証明書、融資証明書等)の提出を求められる場合があるので留意すること。

融 資 証 明 書

平成18年4月7日



様

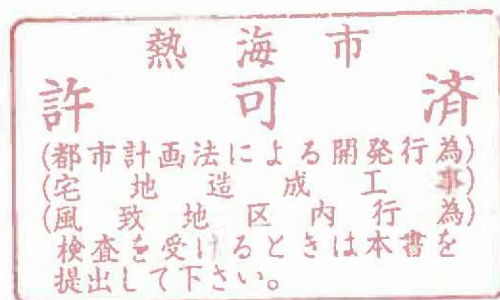
記

今般、貴社の熱海市伊豆山字嶽ヶ[REDACTED]他の開発事業に対し
事業資金として下記の金額を融資する。

融資金額

一金 120,000,000円也

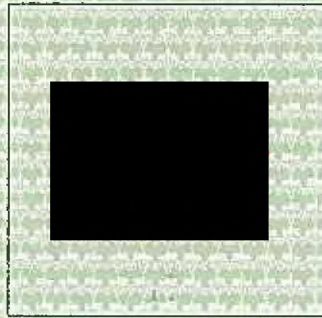
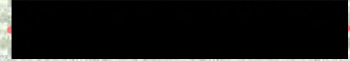
以上、本書を融資証明書といたします。



印鑑証明書



会社法人等番号



商号
本店



これは提出されている印鑑の写しに相違ないことを証明する。

平成18年 2月15日

横浜地方法務局小田原支局
登記官

谷澤幸雄



整理番号 ウ043845

工事施行者の能力に関する申告書

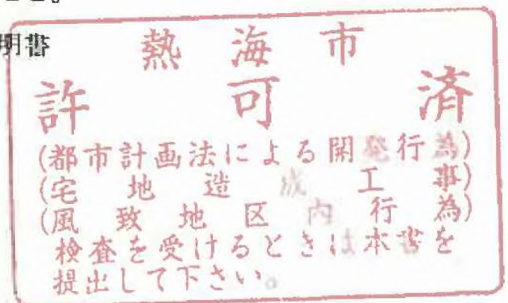
平成18年3月6日

静岡県知事 石川嘉延様
 申請者 住所 氏名
 電話番号
 工事施行者 住所 氏名
 電話番号

都市計画法第33条第1項第13号に規定する必要な能力について次のとおり申告します。

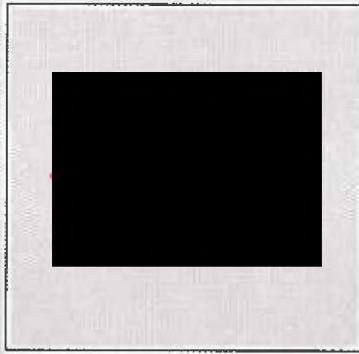
設立年月日	平成13年5月		資本金	10,000千円		
法令による登録等	山梨県知事 許可					
従業員数	事務	技術	労務	計		
	1人	3人	7人	11人		
前年度又は前年の納税額	法人税又は所得税 27,900円		事業税	0千円		
主たる取引金融機関	みずほ銀行					
建設業法第26条による主任技術者の住所及び氏名						
技術者略歴	職名	氏名	年令	在社年数	資格・免許・学歴・その他	
				4年	二級土木施工管理技士	
宅地造成工事等施行経歴	注文主の氏名	元請・下請の別	工事施行場所	面積	許認可年月日	完了年月
		下請	甲州市勝沼町	280㎡	年月日	H13年10月
		下請	甲州市勝沼町 休息	250㎡	年月日	H14年9月
		下請	甲州市西広門田	300㎡	年月日	H16年1月
					年月日	年月

- 注 1 法令による登録等の欄には、建設業法による建設業の許可、建築士法による建築士事務所の登録等について記入し、当該許可証等の写しを添付すること。
 2 次に掲げる書類を添えること。
 (1) 前年度に係る法人税又は前年に係る所得税の納税証明書
 (2) 法人の登記簿謄本 (個人の場合は、履歴書)

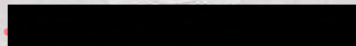


印鑑証明書

会社法人等番号



商号
本店



熱海市 許可済
 (都市計画法による開発行為)
 (宅地造成工事)
 (風致地区内行為)
 検査を受けるときは本書を
 提出して下さい。

これは提出されている印鑑の写しに相違ないことを証明する。

平成18年 4月 3日

甲府地方法務局山梨出張所
登記官

種 村 治



土総第1732号
平成17年11月28日

■■■■■
■■■■■
■■■■■ 殿

山梨県知事 山本 栄彦

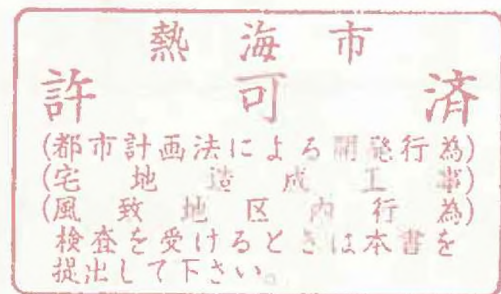


一般 建設業の許可について (通知)

平成17年11月1日付けで申請のあった一般建設業については、建設業法第3条第1項の規程により、下記のとおり許可したので、通知する。

記

許可番号	山梨県知事 許可■■■■■
許可の有効期間	平成17年11月28日から平成22年11月27日まで
建設業の種類	土木工事業



注) 許可の更新申請を行う場合の書類提出期限 : 平成22年10月28日
(この日が行政庁の休日に該当する場合は、直前の開庁日)



納税証明書

(その1・納税額等証明用)

住所(所在地) [Redacted]

氏名(名称) [Redacted]

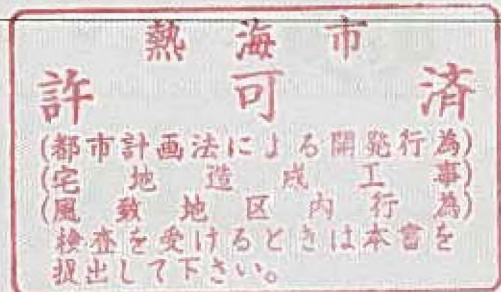
代表者 [Redacted]

税目	法人税		納付済額	未納税額	法定納期限等
	年度及び区分	納付すべき税額			
	申告額	更正・決定後の額			
(自)平成16年 8月 1日 (至)平成17年 7月31日 本税	円 [Redacted]	円 [Redacted]	円 [Redacted]	円 [Redacted]	[Redacted]
		*****			*****
	以	下	余	白	

(備考)

○ 証明書発行日現在の納付すべき税額等は上記のとおりですが、今後、修正申告又は税務署若しくは国税局(国税事務所)の調査による更正等により異動を生じる場合があります。

管(証明)第001117号



上記のとおり、相違ないことを証明します。

平成 18 年 2 月 20 日

山梨税務署長

財務事務官

郷間弘司



510304766

番号

2級技術検定合格証明書

本籍 新潟県

氏名

建設業法の規定に基づく昭和56年度土木
施工管理に関する2級の技術検定に合格し
たことを証し、2級土木施工管理技士と称す
ることを認める。

昭和57年3月10日

建設大臣 伊平 始園



設 計 説 明 書

1 事業計画の概要

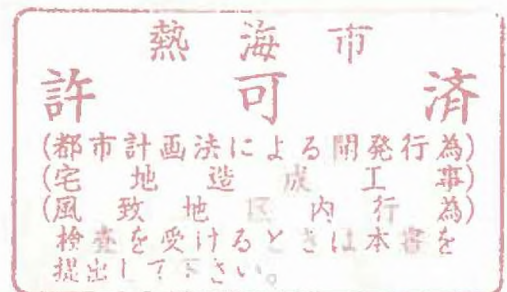
(1) 景観の良い場所に低廉な宅地を供給する為、宅地分譲を行う。

2 計画地の現況

(1) 土地の地目別内訳等

区 分	公 簿 面 積				実 測 面 積	
	既 取 得 地	未取得民有地	未取得公有地	計	面 積	割 合
宅 地	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	%
農 地	田					
	畑					
	その他					
	小 計					
山 林	m ²	7,428.00m ²		7,428.00m ²	3,929.00m ²	19.7%
原 野	m ²	40,895.00m ²		40,895.00m ²	16063.84m ²	80.3%
公共公益用地			0m ²		0m ²	0%
そ の 他 ()						
計	m ²	48,323.00m ²	m ²	48,323.00m ²	19992.84m ²	100%

(注) 農地欄のその他には採草放牧地を記入すること。



(2) 計画地の現状

標高	最高地 450.0 m ~ 最低地 401.0 m		平均 425.5 m 標高差 49.0 m	
傾斜状況	勾配	面積	割合	土地利用方針
	0度～15度	16994 m ²	85%	
	15度～30度	2999 m ²	15%	
	30度～45度	0m ²	0%	
	45度以上	0m ²	0%	
地盤の状況及び地盤対策の必要の有無	よく締まった関東ローム層の地山であり、転石を含む。 地盤対策の必要はない。			
河川	鳴沢川流域 面積 68.32ha 全体面積の 2.9264%	地区内の雨水 流出は、道路 側溝により集 水し、接道す る熱海市市道 の側溝に流入 し流末は鳴沢 川に流下する	放流先 中間経路 河川法上の 河川又は海	開発区域 ↓ 準用河川 鳴沢川 ↓ 海
計画地への交通路	取付ける 認定道路	市道 七尾本宮線 (W = 7.2 m)		
	進入路区間	W = m L = m 現況地目		

- (注) 1 「流末経路」の欄には、放流先から最終の流末河川までを系統ごとに記載すること。また、河川の級種別も記入すること。
- 2 「取り付ける認定道路」の欄には、開発区域内の道路が接続する開発区域外の道路又は開発区域内の予定建築物等の敷地が接する開発区域外の道路について記載すること。なお、当該道路を拡幅する場合には、現況幅員及び拡幅後の幅員をそれぞれ記載すること。
- 3 「進入路区間」の欄には、開発区域内の道路と開発区域外の道路を接続するために設置する道路の区分について記載すること。

許 可 済
(都市計画法による開発行為)
(宅地造成工事)
(風致地区内行為)
検査を受けるときは本書を
提出して下さい。

(3) 土地利用規制現況等

根拠法令	規制の種別 (地域区分)	面積	根拠法令	規制の種別 (地域区分)	面積
国土利用計画法		ha	自然公園法		ha
都市計画法	非線引都市計画区域	1.999284ha	文化財保護法		
農振法 (農用地区域)			宅地造成等規制法	規制区域内	1.999284ha
森林法			静岡県風致条例	第2種風致	1.999284ha

- (注) 1 上記のほか規制を受ける法令については、すべて記載すること。
 2 国土利用計画法の欄には、土地利用基本計画による地域区分の細区分を記すこと。

3 土地利用計画

(1) 施設計画の概要

	施設名	面積	割合	数量、規模等についての概要説明
営業用施設 (自己用を含む)	宅地	9890.1㎡	49.46%	34区画最大421.8㎡最小 ^{252.5} ㎡ 4.5㎡3箇所 6.4㎡1箇所
	ゴミ置場	19.9㎡	0.10%	
	小計	9910.0㎡	49.57%	
公共施設	公園	1259.8㎡	6.30%	(緑道249.7㎡を含む)
	道路	3285.1㎡	16.43%	
	緑地	5537.9㎡	27.70%	
	小計	10082.8㎡	50.43%	
その他				
	小計			
合計		19992.8㎡	100%	

熱海市
許 可 済
(都市計画法による開発行為)
(宅地造成工事)
(風致地区内行為)
接査を受けるとは本書を
提出して下さい。

住区街区の設定計画（分譲地、工場団地に係るもの）

街区数	街区	最大街区面積	m ²	街区最長辺長	m
最大区画面積	421.8m ²	最小区画面積	252.5	平均区画面積	290.9m ²
予定建築物	住宅				合計
区画面数	34				34

(注) 1 営業用施設

分譲用宅地、ゴルフ場のホール等計画の主たる目的とした施設

2 公共施設

計画地内で整備しようとする道路、公園、下水道、緑地、広場、河川、運河、水路及び消防の用に供す貯水施設

3 公益的施設

計画地内で整備しようとする水道、廃棄物処理施設、バス停、社会福祉施設、医療施設、公民館・集会所、変電所、官公署、教育施設等

4 その他

上記1～3に区分されない施設、未利用地

5 工区を設定する場合には、工区ごとにとりまとめること。

(2) 開発率

施行区域の面積に対する現地形又は現植生を変更する土地の面積の割合を記載すること。

$$\frac{15992.4\text{m}^2}{19992.84\text{m}^2} \times 100 = 79.99\%$$



4 個別計画の明細

(1) 防災計画

区 分	種 別	施設概要 (構造等)
河川改修	(河川・水路名)	
防災施設	工事中の土砂流出防止のため開発区域内に沈砂池を設ける	必要沈砂池容量 $V = 117.2 \text{ m}^3$ 沈砂池容量 $V = 121.0 \text{ m}^3$
その他	沈砂池に至る道路は、盛土部には暗渠集水管（網状管φ100）を埋没し、素掘側溝により沈砂池に導く開発区域の周囲は土のう積により区域外への雨水及び土砂の流出を防止する。	

- (注) 1 開発行為において施行する防災計画を明らかにすること。
 2 施設には符号を付す等により図面と対照しやすいようにすること。
 3 流末河川について河川名を明示して現況・流下能力及び改修計画を明示すること。
 4 水理計算書を添付すること。
 5 流出土砂量計算書を添付すること。
 6 調整池容量計算書を添付すること。(下流の流下能力の検討を含む。)

(2) 生活用水計画 (自己の居住の用に供する住宅の建築を目的とする開発行為は除く。)

計画給水区分	給水量等	積算の基礎	
		施設ごとの給水人口等	最大給水量
計画年次	平成18年	34区画 × 4人 = 136人	136人 × 400ℓ ≒ 55m ³
計画給水人口	200人		
1日1人当たり給水量	最大 400ℓ/日 平均 300ℓ/日		
1日当たり給水量	最大 55 m ³ /日 平均 41 m ³ /日		
時間最大給水量	4.6 m ³ /時		

熱海市

許 可 済

(都市計画法による開発行為)
 (宅地造成工事)
 (風致地区内行為)
 検査を受けるときは本書を
 提出して下さい。

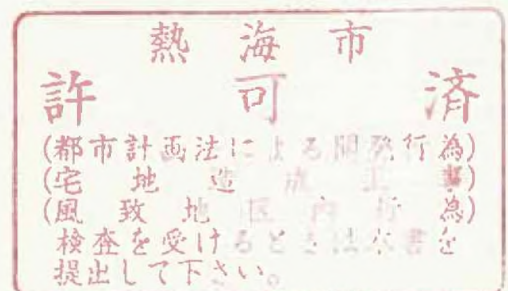
(3) 工業用水計画（自己の居住の用に供する住宅の建築を目的とする開発行為は除く。）

用途	区分	使用水量	積算の基礎
ボイラー用水		m ³ /日	
原料用水			
製品処理及び洗浄用水			
冷却用水			
温調用水			
その他			
計			

(4) その他の用水計画（自己の居住の用に供する住宅の建築を目的とする開発行為は除く。）
生活用水、工業用水以外の用水を使用する場合は、上記の例に準じて説明すること。

(5) 水源及び水量（自己の居住の用に供する住宅の建築を目的とする開発行為は除く。）

水源の種別	水量等		備考
水道	水道の名称	最大受水量	分水又は給水承諾書を添付すること。
	熱海市営水道	41 m ³ /日	
地下水	くみ上げ地点	最大取水量	地下水の採取計画書を添付すること。
		m ³ /日	
表流水	河川の名称	最大取水量	水利権許可書又はこれに準ずるものを添付すること。
		m ³ /日	



(6) 給水施設計画（自己の居住の用に供する住宅の建築を目的とする開発行為は除く。）

施設区分	規模・構造等についての説明
送水管 (PE管) φ100 配水管 φ75 給水管 φ20	水道本管より取出管φ40にて受水槽に受け、これより標高470mに設置する配水タンクまで送水管 (PE管) φ100にて送水する。配水タンクより配水管 (PE管) φ75にて受水槽に接続させる。各戸への給水は配水管φ75よりφ20にて給水する。

(7) 排水施設計画

施設区分	規模・構造	積算の基礎等
U字側溝	240 × 240 300 × 300 600 × 1200 600 × 1300 600 × 1400	排水計画図・構造図参照

(注) 1 雨水と雨水以外の下水、開発区域内と開発区域外とに区分して排水系統ごとに記入すること。

2 4(1)防水計画に掲げた施設の再掲は、不要である。

(8) 道路計画

道路区分	幅員	延長	勾配			最小曲線半径	(計画)交通量	備考
			最小	最大	平均			
公道の現況	7.2 m	m	%	%	%	m	台/日	市道七尾本宮線
進入路								市(町)移管道 L = m
開発道路	7.0 m	442.55m	2.5	9.0%	8.17	15.0	60/1	市移管道路 L = 442.55m
支線道路								

(注) 1 「公道の現況」の欄には、開発区域内の道路が接続する開発区域外の道路又は開発区域内の予定建築物等の敷地が接する開発区域外の道路について記載すること。この場合、L=200メートルの範囲で記載すること。

2 「進入路」の欄には、開発区域内の道路と開発区域外の道路を接続するために設置する道路について記載すること。

許 可 済
 (都市計画法による開発行為)
 (宅地造成工事)
 (風致地区内行為)
 検査を受けるときは本書を
 提出して下さい。

(9) 清掃施設計画

施設区分	処理方法	規模・構造	積算の基礎	備考
し尿 雑排水 ゴミ	個別合併浄化槽 " 市による回収	ゴミ置き場 4.5 m ² 3箇所 6.4 m ² 1箇所		ゴミ置場4ヶ所

- (注) 1 し尿・雑排水・ごみに区分して、それぞれの施設計画を明らかにすること。
2 施設の維持管理の責任及び処理水の水質等処理後の状況を備考欄に記載すること。

(10) 消防用施設計画

施設区分	規模・構造	配置計画
地下式防火水槽	コンクリート 2次製品1ヶ所	消防水利計画平面図参照

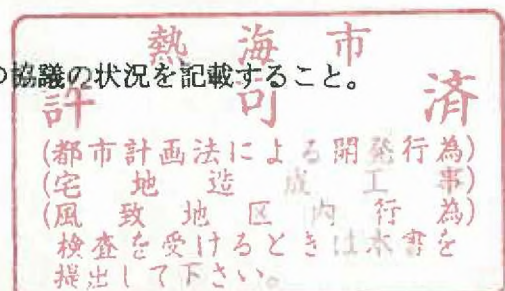
(11) その他の施設計画

施設名	説明
防災資器材 倉庫用地	12 m ² 公園の一部に設定

5 関連公共・公益的施設の整備

施設名	施設管理者	整備計画の明細	協議状況

- (注) 1 開発行為に伴って、公共施設又は公益施設を整備する計画がある場合は、この計画について記載すること。
2 「協議状況」の欄には、当該施設の管理者との協議の状況を記載すること。



6 切土盛土の土量集計

符 号	施行区域	切 土	盛 土	残 土	残土・不足土の処理方法
	土量計算図参照	56320m ³	2560m ³	53760m ³	必要な許認可取得後開発地に隣接する自己所有地へ搬出する。
計					

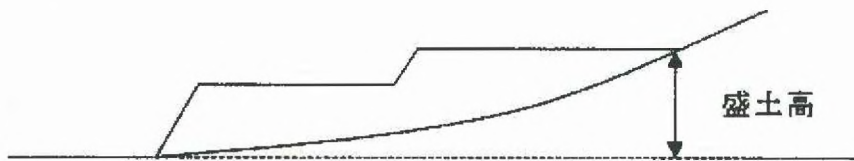
- (注) 1 土量計算書を添付すること。
 2 符号は、符号欄と土量計算書と同一のものを付し対照しやすいようにすること。施行区域は適宜区分すること。
 3 計画地外からの土砂の搬入又は計画地外への土砂の搬出がある場合は、採取地捨土場所、運搬経路、採取方法、捨土方法等について明記すること。なお、必要に応じて関係図面を添付すること。

7 地盤・^の法面・擁壁等の安全対策

(1) 切土・盛土

区 分	最大切盛高	^の 法 勾 配	備 考
切 土	8.5m	33.7°	1 : 1.5
盛 土	6.7m	29.1°	1 : 1.8

- (注) 1 盛土高の計算方法は、下図の例によること。



(2) ^の法面保護・擁壁

位 置	区 分	規 模 及 び 構 造
図面参照 "	法 面 コンクリートブロック積擁壁	種子ふきつけ H=0.0m~5.0m

熱 海 市

許 可 済

(都市計画法による開発行為)
 (宅地造成工事)
 (風致地区内行為)
 検査を受けるときは本書を
 提出して下さい。

(3) 地 盤

改 良 個 所	改 良 方 法
盛土部分	0.3mごとに十分な転圧を行う。 著しく傾斜している土地において盛土する場合は、段切りその他の措置をします。

8 公園計画（自己の居住の用に供する住宅の建築を目的とする開発行為は除く。）

各公園の面積、出入口の数、勾配、施設計画（利用者の安全確保のための施設、排水施設、植栽、遊戯施設等）等について記載すること。

なお、開発区域の面積が0.3ha以上5ha未満の開発行為であつて、政令25条第6号ただし書の規定を受ける場合にあつては、その理由を記載すること。

出入口の数	2ヶ所
勾 配	0° ~ 30°
施設計画	全面植栽
排水施設	図面参照

9 環境保全対策（開発行為の面積が1ha未満のものは除く。）

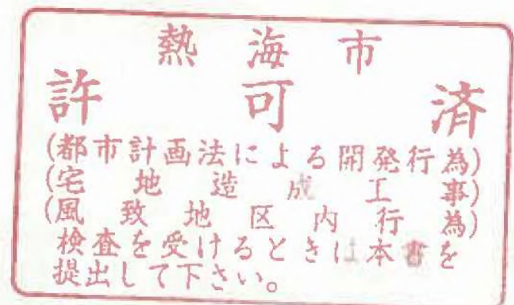
(1) 樹木等の保存計画

区 分	分 布 状 況	保 存 計 画
樹 木	10 本 (m ²)	1 本 (m ²)
樹木の集団	1,000 m ²	0 m ²

(注) 1 樹木とは、高さが10メートル以上の健全な樹木をいう。樹木が広範に分布する場合には、数量の単位は、平方メートルとする。

2 樹木の集団とは、高さが5メートル以上で、かつ、面積が300平方メートル以上の健全な樹木の集団をいう。

3 政令第28条の2第1号ただし書の規定の適用を受ける場合にあつては、その理由を記載すること。



(2) 表土の復元等の計画

ア 高さが1メートルを超える切土又は盛土をする土地の面積

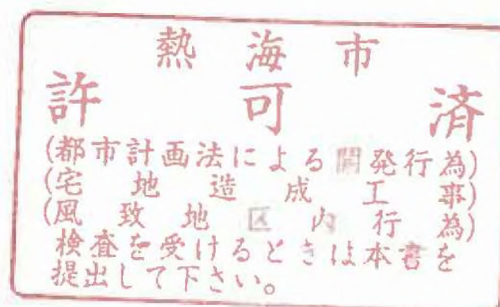
区 分	面 積
切 土	14031.0m ²
盛 土	1961.4 m ²
合 計	15992.4 m ²

イ アの土地に対する表土の復元等の措置（アの土地の合計の面積が1,000平方メートル未満のものは除く。）

区 分	面 積
表 土 の 復 元	
埋 戻 し 土	1961.4m ²
土 壌 の 改 良	
そ の 他	
合 計	1961.4m ²

(3) 緩衝帯の配置計画

なし

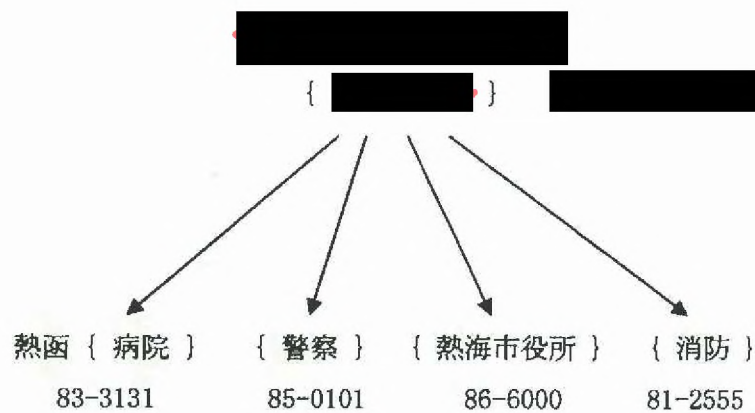


10 工事中の災害防止等の計画

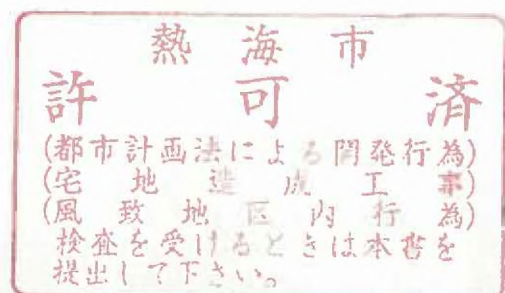
(1) 土砂流出防止計画等

区 分	具 体 的 な 対 策 等
土砂流出・崩壊 防 止	沈砂池を設ける、土砂流出防止の為に土のうを積む。
水質汚濁防止	沈砂池設置
飲料水確保	水筒・自動販売機設置
交通安全対策	警備員常置
騒音対策	近隣と協議した結果、騒音が出る工事は 土曜・日曜・夜間は致しません。
そ の 他	伐採樹木の処分方法：産業廃棄物処理業者に処理を委託します。 静岡県許可 [REDACTED] [REDACTED] (中間処理施設・収集運搬業務)

(2) 施工管理体制



(注) 工事中の現場管理体制、特に非常時の連絡体制を記載すること。工事施行者が未定で許可を受ける場合には、工事着手届において明らかにする旨記載し、工事着手届に添付してもよい。

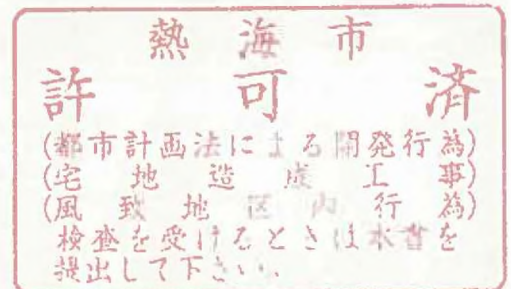


1 1 施設完成後の管理計画等

区分	施設名	管理者	管理方法等
営業用施設 (自己用を含む。)	宅地 ゴミ置き場	購入者	購入者による補修・清掃
公共施設	道路	熱海市	
	公園	申請者	申請者による補修・清掃
	緑地	申請者	申請者による補修・清掃
公益的施設	防火水槽	熱海市	
その他	宅地内水路	分譲後の土地所有者	販売重要事項説明で購入者に適切な管理方法の了解を得た上で販売する。

(注) 1 3土地利用計画 (1) 施設計画の概要に掲げた施設区分に従い、施設完成後の当該施設の管理者及び管理方法について記載すること。

2 公共施設又は公益的施設であって、公共団体に移管されないものについては、その管理方法等を特に詳細に記載すること。



熱海市伊豆山分譲計画

排水施設の設計

平成 17 年 12 月



熱 海 市
許 可 済
(都市計画法による開発行為)
(宅地造成工事)
(風致地区内行為)
検査を受けるときは本書を
提出して下さい。

1. 設計計画

雨水排水施設の基本計画は、「開発許可ハンドブック」（静岡県都市住宅部土地対策）の第3編 技術基準編 の「第3章排水施設」に準拠する。

設計対象範囲の流域は 15.24ha である。地表状態により 3 流域に分けられ、自然樹林地の上流域は 11.30ha、裸地の中流域は 1.95 ha で共に区域外流入域である。開発区域は下流域に位置し、流域は 1.99 ha で開発区域外に流出する。この流末は開発区域に接続する熱海市道に敷設されている U 型側溝に流入する。

2. 計画雨水量

2.1 算定方法

計画雨水量は次式により算定する。

$$Q = 1/360 \cdot C \cdot I \cdot A$$

Q : 計画雨水量(m³/s)

C : 流出係数

I : 降雨強度 (mm/hr)

A : 排水面積 (ha)

$$I = a / t^{n+b}$$

t : 降雨継続時間 (分)

a、b、n : 定数

2.2 流出係数

流出係数の値は、技術基準編 p.352 に一般的に採用する値を次表としている。

密集市街地	0.9
一般市街地	0.8
畑・原野	0.6
水 田	0.7
山 地	0.7

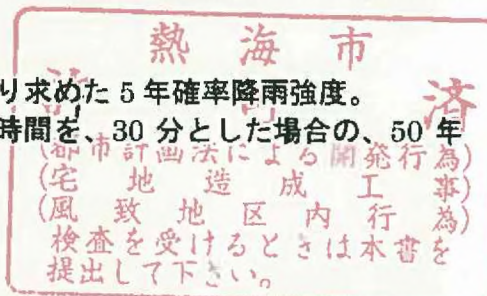
本設計では、熱海市まちづくり課との協議の結果、樹林地 : 0.6 裸地 : 0.9 として、その流域は次のとおりと定めた。

- ① 開発区域外区域 = 11.3 ha 流出係数 = 0.6
- ② 開発区域隣接裸地 = 1.95ha 流出係数 = 0.9
- ③ 開発区域内 = 1.99ha 流出係数 = 0.9

2.3 計画降雨強度

技術基準編では、排水施設の管渠の設計に用いる計画降雨強度は、都市計画法施工規則第 22 条に準拠して、5 年確率降雨強度以上の値として次のとおりである。

- ① 到達時間（継続時間）から計算により求めた 5 年確率降雨強度。
- ② 調整池の容量計算に用いる降雨継続時間を、30 分とした場合の、50 年確率降雨強度。



のいずれかとして次表を示している。熱海市は静岡県の東部地区になる。

1) 5年確率降雨強度式による降雨継続時間
(mm/hr)

降雨継続時間	東部
5分	126
7	115
10	104
15	91
20	82
30	70

5年確率降雨強度式は
 $r = 809.1 / (t^{0.6} + 3.7936)$ である。

2) 調整池の容量計算に用いる降雨強度
(mm/hr)

地 域	東 部
降雨継続時間 (30分) 50年確率短時間降雨強度	100

本設計計算においては、計算の簡略化をはかり、調整池の設計計算に用いる30分降雨継続時間・50年確率降雨強度式による100mm/hrの数値を採用する。

2.4 流量計算

排水施設の流量はマンニング式から求める。流速は1.0m~1.8m/sを標準としやむをえない場合は0.8m~4.5mとする。

マンニング式は

$$v = 1/n * r^{2/3} * i^{1/2}$$

$$Q = A * V$$

ここに

v: 流速 (m/s)

n: 粗度係数: 自由勾配側溝の場合 0.014 とする。

i: 勾配

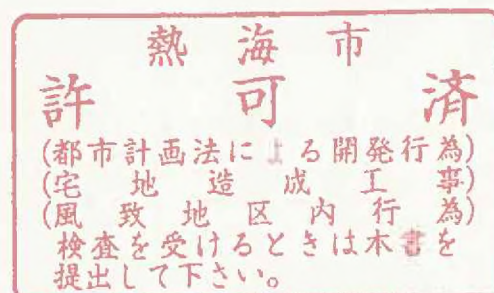
R: 径深 (m) = A/P

A: 流水の断面積

P: 流水の潤辺

Q=流量 (m³) である。

流量計算書は、別紙にかかげる。



3. 造成工事で生ずる流出土砂の防止施設の設計

3.1 計画雨水量の計算

計画雨水量は次式により算定する。

$$Q=1/360 \cdot C \cdot I \cdot A$$

Q: 計画雨水量(m³/s)

C: 流出係数

I: 降雨強度 (mm/hr)

A: 排水面積 (ha)

$$A=\text{排水面積(集水面積)}=15.2\text{ha}$$

(山林=12.9ha, 裸地=2.3ha)

: 裸地面積は、今回開発区域 1.99ha と上流域の裸地面積 0.31ha を計上した。

$$I=100\text{mm/h}$$

$$\text{平均流出係数 } C = (12.9 \cdot 0.6 + 2.3 \cdot 0.9) / 15.2 = 0.65$$

雨水流量は、

$$Q=1/360 \cdot 0.65 \cdot 100 \cdot 15.2=2.744 \text{ m}^3/\text{s}$$

3.1 流出土砂量の算定基準

「開発許可ハンドブック」 p.379 「第4節 沈砂池」の項から流出土砂量の推定は次表による。

地表の状態	1ha 当りの流出土砂量 (m ³ /年)	厚さ (mm)
裸地・荒廃地等	200~400	20~40
皆伐地・草地等	15	1.5
択伐地	2	0.2
普通の林地	1	0.1

3.2 流出土砂量の算定

技術基準では、生産土砂量は作業工程表に基づく工事期間から算定し、かつ4ヶ月未満の場合は4ヶ月としている。

本設計では浚渫を1ヶ月に1回以上することとし、安全を見て流出土砂量の2ヶ月間分として算定する。

① 流出土砂量の算定

$$V = (300 \cdot 1/12 \cdot 2.3 + 1 \cdot 1/12 \cdot 12.9) \cdot 2 \text{ヶ月} = 117.2 \text{ m}^3$$

② 工事終了後から緑化までの流出土砂量の想定

計画地は、将来の宅地計画予定地であり、**工事**中のみの算定量により設計する。

熱海市

(都市計画法による開発行為)
 (宅地造成工事)
 (風致地区内行為)
 検査を受けるときは本書を提出して下さい。

3.3 沈砂池の設計

沈砂池は、計画地の形状から宅地造成予定地内に設定し、掘り込み沈砂池となる。

沈砂池は、平成7年静岡県 都市住宅部長「都市計画法施工令第26条第2号（河川等への排水）の設計基準について（通知）、別記2 流出土砂：砂防施設設計基準 3.掘込沈砂池設計基準 に準拠する。

① 沈砂池への流入水路断面

土砂混入率を2割とし、清水断面の1.32倍とする。3.1計画雨水量の計算から

$$\text{雨水流出量 } Q = 2.744 \text{ m}^3/\text{s}$$

$$\text{流入量 } q = 1.32 \cdot Q = 1.32 \cdot 2.744 = 3.622 \text{ m}^3/\text{s}$$

集水路は、造成工事が開発区域全域で行われるため素掘り側溝とする。

粗度係数は(社)土木学会編「水理公式集」(平成11年)Manningより $n=0.025$ とする。

暫定水路であり素掘り側溝であることから流速の上限を 3.00 m/sec 付近として、8割水深で水路勾配と断面を決定する。

水路底幅 $B=1.00$ 水路深さ $H=1.00$ 側面法勾配 $m=1:0.5$ の台形水路とする

$$\text{流速は、} V = 1/n \cdot r^{2/3} \cdot i^{1/2}$$

$$n = 0.025$$

$$p = B + H(1 + m^2)^{1/2} \cdot 2 = 1.00 + 1.00(1 + 0.5^2)^{1/2} \cdot 2 = 3.236 \text{ m}$$

$$a = H(2B + 2mH)/2 = 1.00(2 \cdot 1.00 + 2 \cdot 0.5 \cdot 1.00)/2 = 1.500 \text{ m}^2$$

$$r = a/p = 1.500/3.236 = 0.464$$

$$r^{2/3} = 0.464^{2/3} = 0.599$$

$$i = 1.6\%$$

$$V = 1/0.025 \cdot 0.464 \cdot 0.016^{1/2} = 3.031 \text{ m/sec}$$

$$Q = 1.500 \cdot 3.031 = 4.547 \text{ m}^3/\text{s} > 3.622 \text{ m}^3/\text{s} \dots \text{OK}$$

② 沈砂池の滞砂容量

流出土砂の沈殿物の深さを 1.00 m とする。

沈砂量は 3.2 流出土砂量の算定 の項より $V = 117.2 \text{ m}^3$ 以上とする。

幅×長さ×沈殿物の深さ = $11.000 \times 11.000 \times 1.000$ とすれば

沈砂池容量は、 $V = 11.000 \cdot 11.000 \cdot 1.000 = 121 \text{ m}^3 > 117.2 \text{ m}^3 \dots \text{OK}$

④ 沈砂池の流水断面の検討

沈砂池内の流下断面は、幅 2500 水深 700 とする。

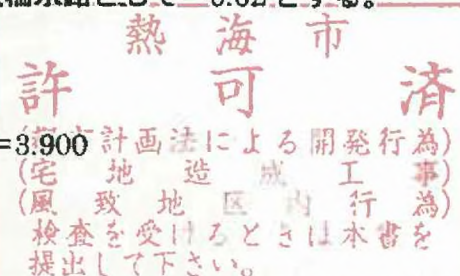
沈砂池勾配は $i=1/200$ (0.50%)、粗度係数は板柵水路として $n=0.02$ とする。

流速は

$$V = 1/n \cdot r^{2/3} \cdot i^{1/2}$$

$$n = 0.02$$

$$p = 0.700 \cdot 2 + 2.500 = 3.900$$



$$a=2.500 \cdot 0.700=1.750 \text{ m}^2$$

$$r=a/p=1.750/3.900=0.449$$

$$r^{2/3}=0.449^{2/3}=0.586$$

$$i=0.50\%$$

$$V=1/0.02 \cdot 0.586 \cdot 0.005^{1/2}=2.072 \text{ m/sec}$$

$$Q=1.750 \cdot 2.072=3.626 \text{ m}^3/\text{sec} > 3.622 \text{ m}^3/\text{s} \dots \dots \text{OK}$$

⑤沈砂池の断面形状

滞砂深=1.000m

常時有効水深=1.000m

流水深=0.700m

余裕高=0.300m (掘込式であり 0.300m以上とする)

以上より沈砂池の形状は、幅×長さ×深さ=11.000×11.000×3.000とし

沈砂池内の流下断面は、幅×長さ×深さ=2.500×11.000×3.000とする。

沈砂池設計図参照のこと。

⑥沈砂池からの流出水路断面

清水断面の 1.50 倍とする。

流出量 $q=1.50 \cdot Q=1.50 \cdot 2.744=4.116 \text{ m}^3/\text{s}$

水路断面積は、流速を 4.00mとして

$A=Q/V=4.116/4.000=1.029 \text{ m}^2$ 以上である。

熱 海 市

許 可 済

(都市計画法による開発行為)
 (宅地造成工事)
 (風致地区内行為)
 検査を受けるときは本書を
 提出して下さい。

※ 雨水流出量(単位面積当り)
 $Q=1/360 \cdot C \cdot I \cdot A$ より $C=90\%$ $I=100\text{mm/h}$ $A=1.0\text{ha}$ のとき
 $Q=1 \cdot 360 \cdot 0.9 \cdot 100 \cdot 1 = 0.250\text{m}^3/\text{sec}/\text{ha}$

流量計算表

雨水流出係数	人口密度	時間最大汚水量	平均流速	流入時間
%	人/ha	$\text{m}^3/\text{Sec}/\text{ha}$	m/Sec	min
90.00			3	7

$\gamma = \frac{1}{240} \rightarrow \gamma = 0.00417$
 $A = 0.072$
 $P = 0.18$
 $\frac{A}{P} = 0.0922$

線 番 号	流 入 線 記 号	面 積				延 長		流 速 時 間	最 大 流 出 量						排 水 施 設						地 盤 高	土 被 り	適 用													
		採水面積		換算面積		各 線	最 長		流出係数 %	雨量 m^3/Sec	汚水量 m^3/Sec	その他 特殊排水 m^3/Sec	総水量 m^3/Sec	断面 mm	勾配 %	流速 m/Sec	流量 m^3/Sec	管 径 高																		
		各 線	選 加 ha	各 線	選 加 ha													起 点	終 点																	
																				管 径 高																
1		0.122	0.122						0.031			U-	300*300	25.00	1.476	0.175																				
2		0.075	0.197						0.049			U-	300*300	90.00	4.817	0.333																				
3へ																																				
地区外 森林			7.533																																	
地区外 雑地			1.950	9.483					2.371																											
3	2	0.082	9.762						2.441			U-	800*1200	25.00	4.362	2.513																				
7へ																																				
4		0.124	0.124						0.031			U-	300*300	25.00	2.433	0.175																				
5		0.084	0.218						0.055			U-	300*300	90.00	4.817	0.333																				
6		0.000	0.218						0.055			U-	300*300	20.00	2.738	0.055																				
7	3	0.073	10.053						2.513			U-	800*1200	25.00	4.362	2.513																				
9へ																																				
8		0.081	0.081						0.020			U-	240*240	10.00	1.440	0.087																				
9	7	0.154	10.288						2.572			U-	600*1200	28.00	4.818	2.659																				
10		0.129	10.417						2.604			U-	600*1200	28.00	4.474	2.604																				
11		0.039	10.458						2.614			U-	600*1300	28.00	4.818	2.659																				
24へ																																				

※上段は 3割り水深の場合
下段は実流速・実流量を示す

森林の流出係数60%
換算面積=11.3*0.6/0.9=7.533と
雑地積1.950の合計=9.483ha
 $q=1/360 \cdot 0.9 \cdot 100 \cdot 9.483 = 2.371$

$U = 7.0$
 $R = 0.0923$
 $I = 0.125$
 0.15811
 0.24
 \downarrow
 0.2
 0.6
 $\square 1.2$
 $A = 0.576$
 $P = 2.5$
 $\sqrt{P} = 0.2286$
 $R = 0.2286$
 0.3739
 $I = 0.025$
 0.1591
 $240 \rightarrow 0.167$
 $\square 1.92$
 $A = 0.0461$
 $P = 0.624$
 $A/P = 0.0739$
 \downarrow
 0.176
 $I = 10 \times 0.1$
 $600 \times 400 \quad U 1.2$
 $A \ 0.672$
 $P \ 2.84$
 $A/P \ 0.236$
 $R = 0.3855$
 $I = 2.4 \rightarrow 0.1612$
 $600 \times 300 \quad \square 1.04$
 $A = 0.624$
 $R = 2.68$
 $A/P \ 0.233$
 $R = 0.3786$
 $I \ 0.027$
 $\rightarrow 0.164$

新潟県
 新潟市
 都市計画課
 建設部
 建設課
 建設課
 建設課
 建設課
 建設課

※ 雨水流出量(単位面積当り)

$$Q = 1/360 \times C \times I \times A \text{ より } C = 90\% \text{ } I = 100\text{mm/h} \text{ } A = 1.0\text{ha} \text{ のとき}$$

$$Q = 1 \times 360 \times 0.9 \times 100 \times 1 = 0.250\text{m}^3/\text{sec/ha}$$

流量計算表

雨水流出係数	人口密度	時間最大汚水量	平均流速	流入時間
%	人/ha	m ³ /Sec/ha	m/Sec	min
90.000			3	7

線 番 号	流入 線 記 号	面 積				延 長		流 速 時 間	最 大 流 出 量					排 水 施 設						地 區 高	土 被 り	適 用		
		排水面積		換算面積		各線	最長		流出係数	雨水量		汚水量	その他 特殊排水	総水量	断面	勾配	流速	流量	管 径 高					
		各線	追加	各線	追加					1ha当り	総水量								起点				終点	
																								ha
12		0.080	0.080							0.020			U-	300*300	90.00	4.617 1.961	0.333 0.020							※上段は 8割り水深の場合 下段は実流速・濁流量を示す
13		0.241	0.321							0.080			U-	300*300	90.00	4.617 3.101	0.333 0.080							
14		0.161	0.482							0.121			U-	300*300	90.00	4.617 3.477	0.333 0.121							
15		0.118	0.600							0.150			U-	300*300	90.00	4.617 3.676	0.333 0.150							
16		0.133	0.733							0.183			U-	300*300	90.00	4.617 3.861	0.333 0.183							
17		0.139	0.872							0.218			U-	300*300	90.00	4.617 4.037	0.333 0.218							
18		0.000	0.872							0.218			U-	300*300	40.00	3.078 2.942	0.222 0.218							
19	25~	0.056	0.056							0.014			U-	300*300	90.00	4.617 1.728	0.333 0.014							
20		0.120	0.176							0.044			U-	300*300	90.00	4.617 2.573	0.333 0.044							
21		0.072	0.248							0.062			U-	300*300	90.00	4.617 2.870	0.333 0.062							
22		0.131	0.379							0.095			U-	300*300	90.00	4.617 3.255	0.333 0.095							
23		0.103	0.482							0.121			U-	300*300	90.00	4.617 3.477	0.333 0.121							
24	11	0.041	10.979							2.745			U-	600*1300	27.00	4.583 4.437	2.860 2.745							
25	18	0.000	11.851							2.963			U-	600*1400	26.00	4.534 4.405	3.047 2.963							
26		0.075								0.019			U-	300*300	170.00	6.345 2.346	0.457 0.019							

(部) 建設局 工務課 第四課 係長 〇〇〇



①



②



③



④

(60)
本書を
行は
内は
区は
地を
受ける
とき
は
検査
して
下さい。
風



⑤



⑥



⑦



⑧

検査を受けるときは本書を提出して下さい。



9



10



11



12

山形県
尾花沢市
下野川
山形県
尾花沢市
下野川
山形県
尾花沢市
下野川



13



14



15

濟 市 熱 許
 (為) (事) (為) (を)
 行 行 行 本
 關 開 行 本
 內 內 行 本
 上 區 行 本
 法 造 區 行 本
 地 受 下 行 本
 計 地 致 下 行 本
 市 查 出 行 本
 (都 宅 風 檢 提)



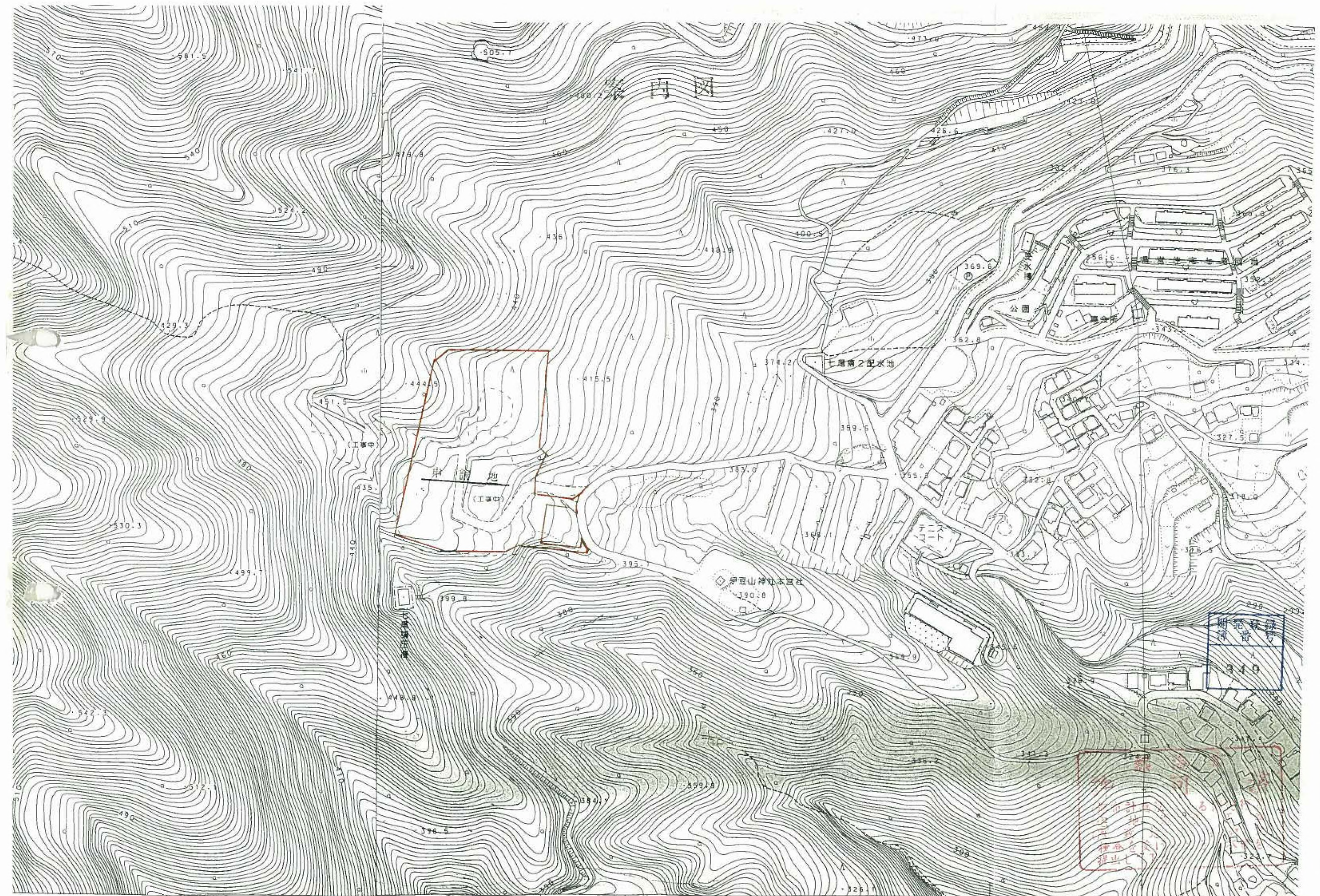
凡例：
 等高線の位置・番号・方向
 ③



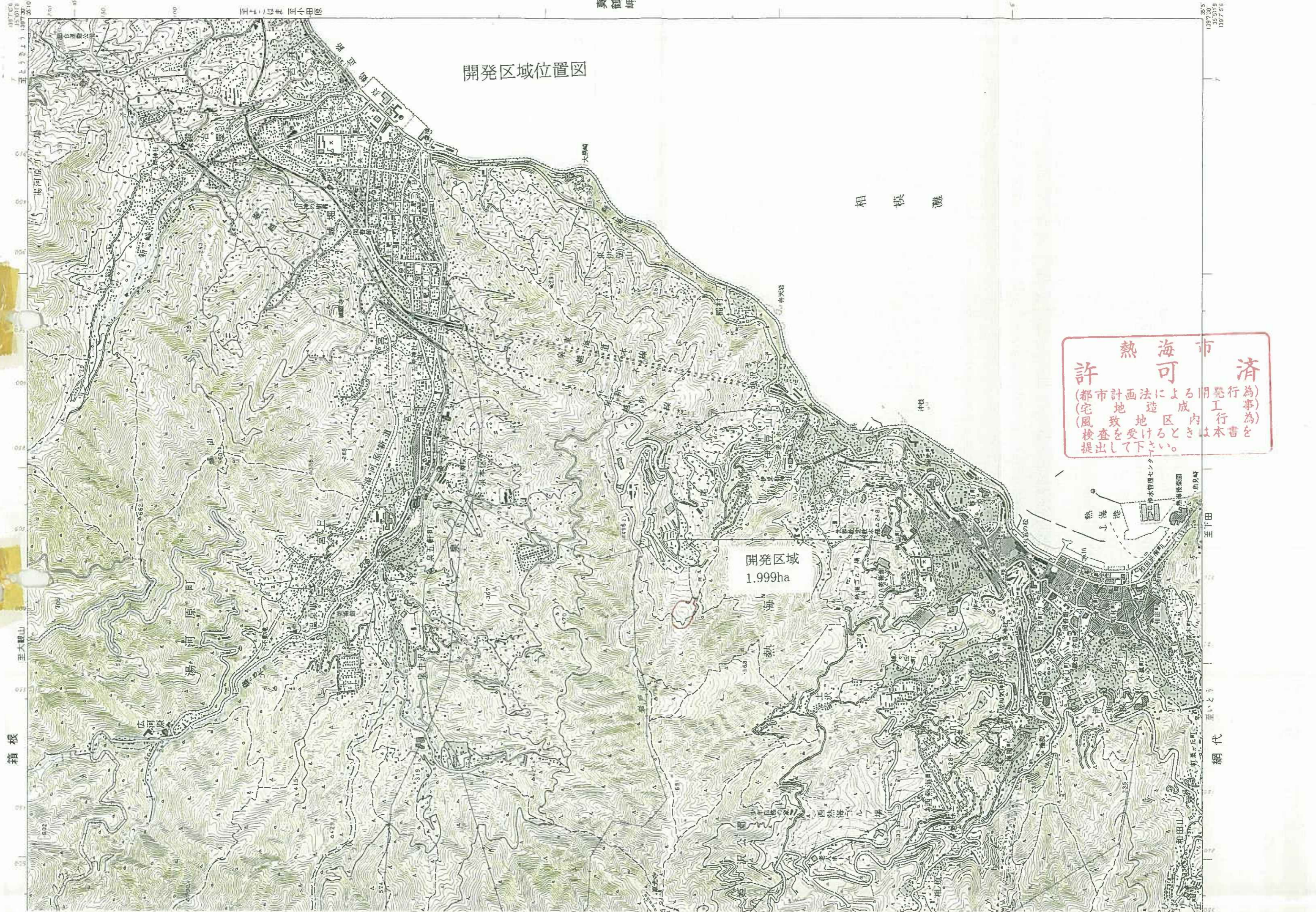
熱海市
 許可済
 (都市計画法による開発行為)
 (宅地造成工事)
 (風致地区内行為)
 検査を受けるときは本書を
 提出して下さい

熱海市伊豆山分譲計画		
所在地	熱海市伊豆山字集ヶ 外地区	
図面名称	現況写真位置図	
縮尺	S=1:500	図面番号
作成年月日	平成 11 年 1 月	
作成者	[Redacted]	

案内図



案内図



開発区域位置図

開発区域
1.999ha

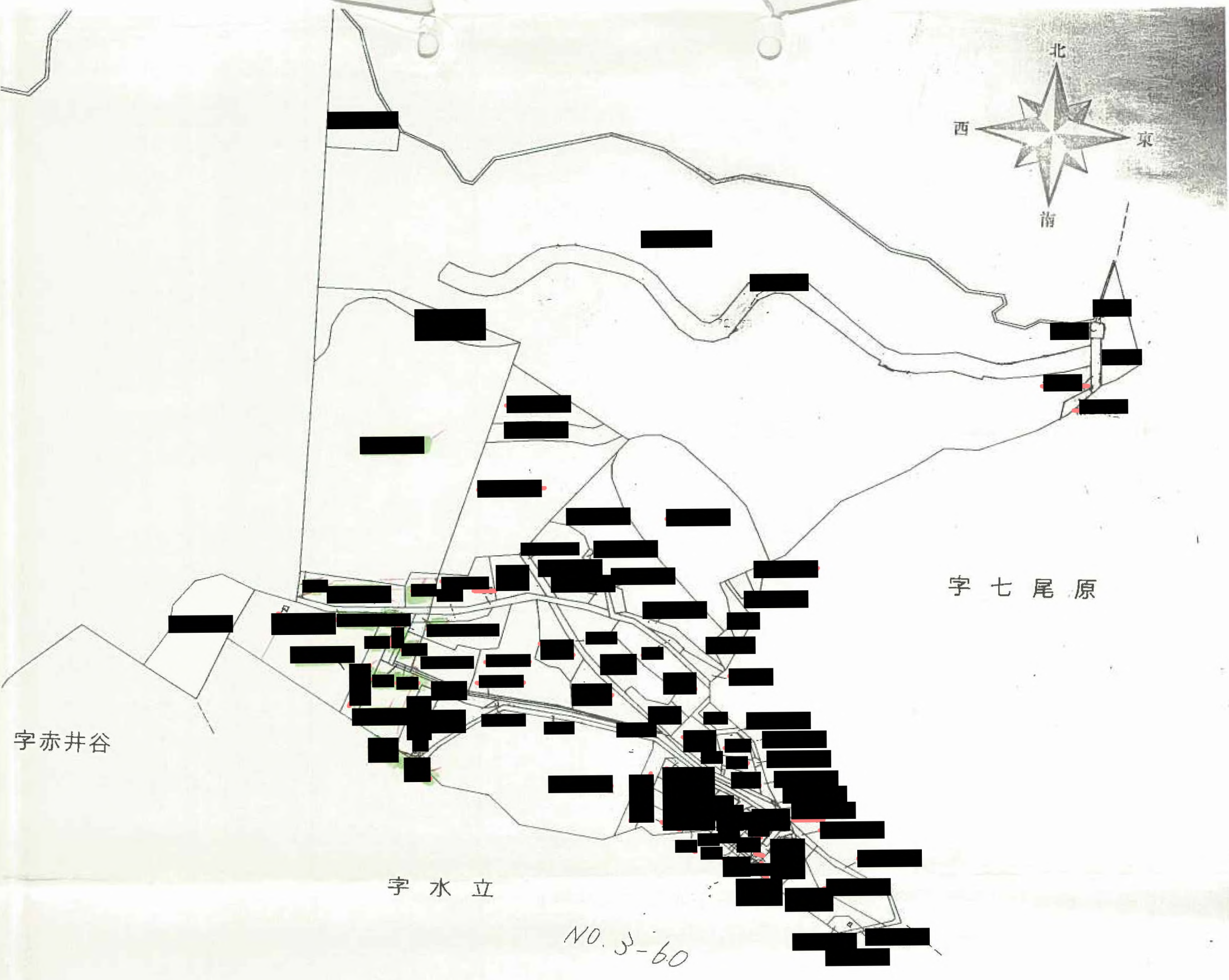
相模灘

熱海市
許可済
(都市計画法による開発行為)
(宅地造成工事)
(風致地区内行為)
検査を受けるときは本書を
提出して下さい。

箱根

網代

1397.30
35.319
129.708



(複写機により作成)

(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

請求部分	所在	熱海市伊豆山 ^字 嶽	地番	■■■■		
	縮尺	1/3000	補記事項			

濟(市)為(本)行(工)開(成)内(法)面(地)受(下)推(出)し
 計(地)致(を)推(出)し
 縮(尺)

これは地図に準ずる図面の写しである。

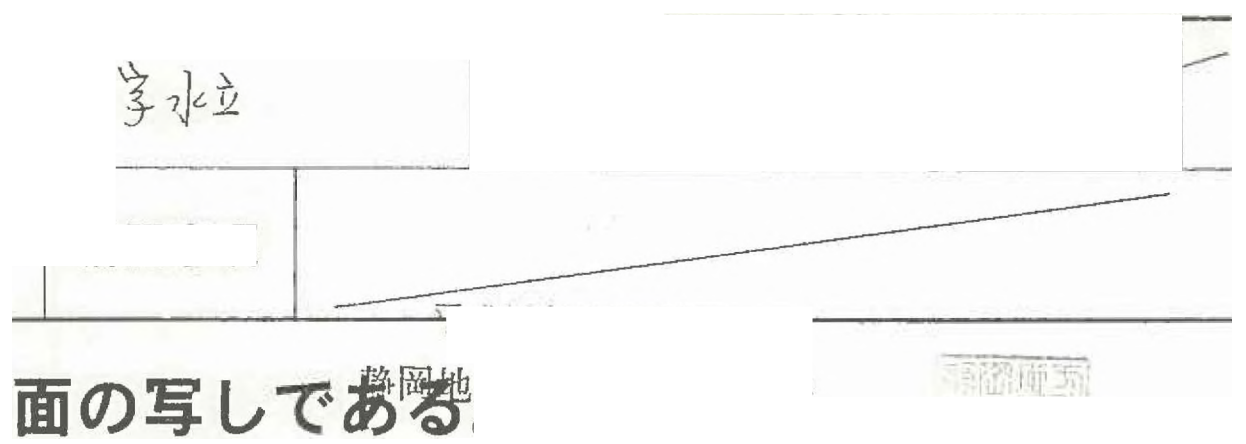
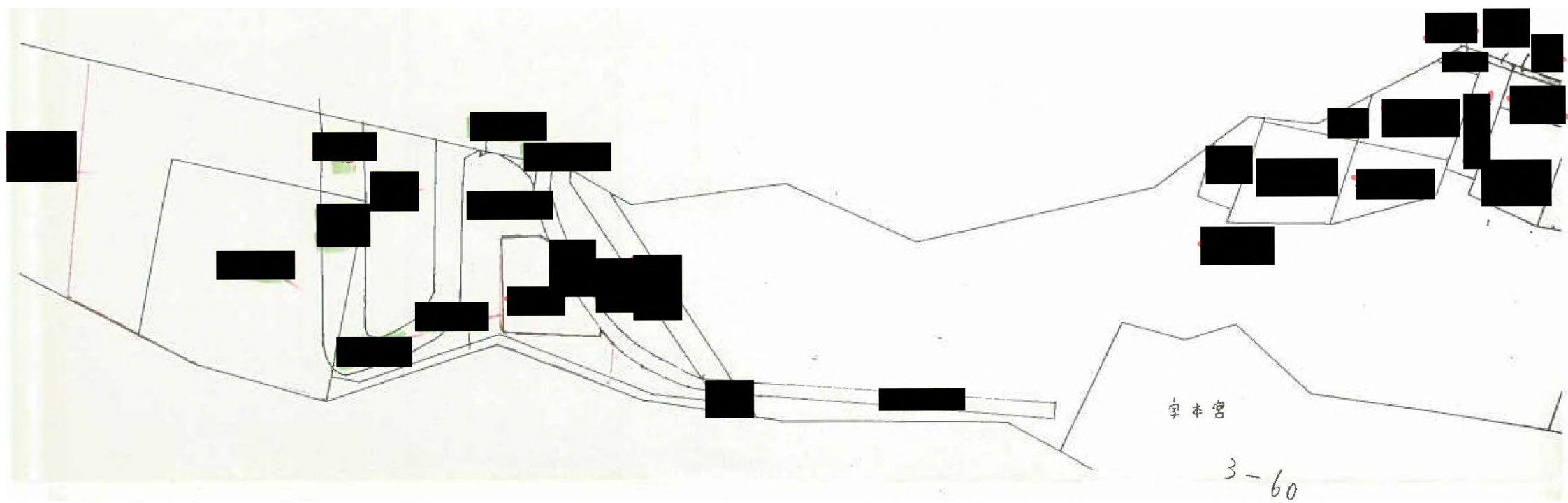
平成 年 月 日

平成18年2月17日

静岡地方法務局熱海出張所

登記官 白井 功治







許 可 濟
 (都市計画法による開発行為)
 (宅地造成等行為)
 (開発行為)

熱海市伊豆山分譲地

所在地	熱海市伊豆山分譲地
図面番号	伊 豆 山
年 尺	5000
作成年月日	平成 10 年 1 月
作成者	



凡例

記号	名称
(記号)	境界線
(記号)	道路幅員・道床
(記号)	境界線 付地積換算 率
(記号)	コンクリートブロック塀 擁壁・擁壁等
(記号)	高低差等・水防壁等
(記号)	第一種
(記号)	第二種

土地利用効率表

種別	面積㎡	%	備註
開発面積	1892.84	100.00	
空地	9891.1	49.47	道路の敷地内土地は 埋め立て地となる
道路	3285.1	16.43	
緑道	295.7	1.25	
公園	1012.1	5.05	
緑地	803.7	3.92	
緑地帯	4934.2	24.68	水面積を含む
ゴミ置き場	9.9	0.10	付帯

公園緑地率 = 0.01166537 = 1.17%	(=0.07%)	第二種面積 = 191.4㎡	(=10.11%)
緑地率 (緑地帯を含む) = 4934.2㎡	(=24.68%)	第一種面積 = 1453.3㎡	(=76.84%)
緑地率 = 0.077468 = 7.75%	(=0.42%)	敷地面積 = 1932.64 = 1561.4 + 4031.0	= 4000.44㎡

熱海市伊豆山分譲計画			
申請地	熱海市伊豆山分譲計画	図面番号	5
申請内容	新設計画申請	申請年月日	2012年1月
申請者	〇〇〇〇〇〇	申請場所	〇〇〇〇〇〇

熱海市 許可
(都市計画法に基き開発行為
(宅地造成行為)の
(敷地造成行為)は本
(申請)を受理したものと
(見做)して可い。



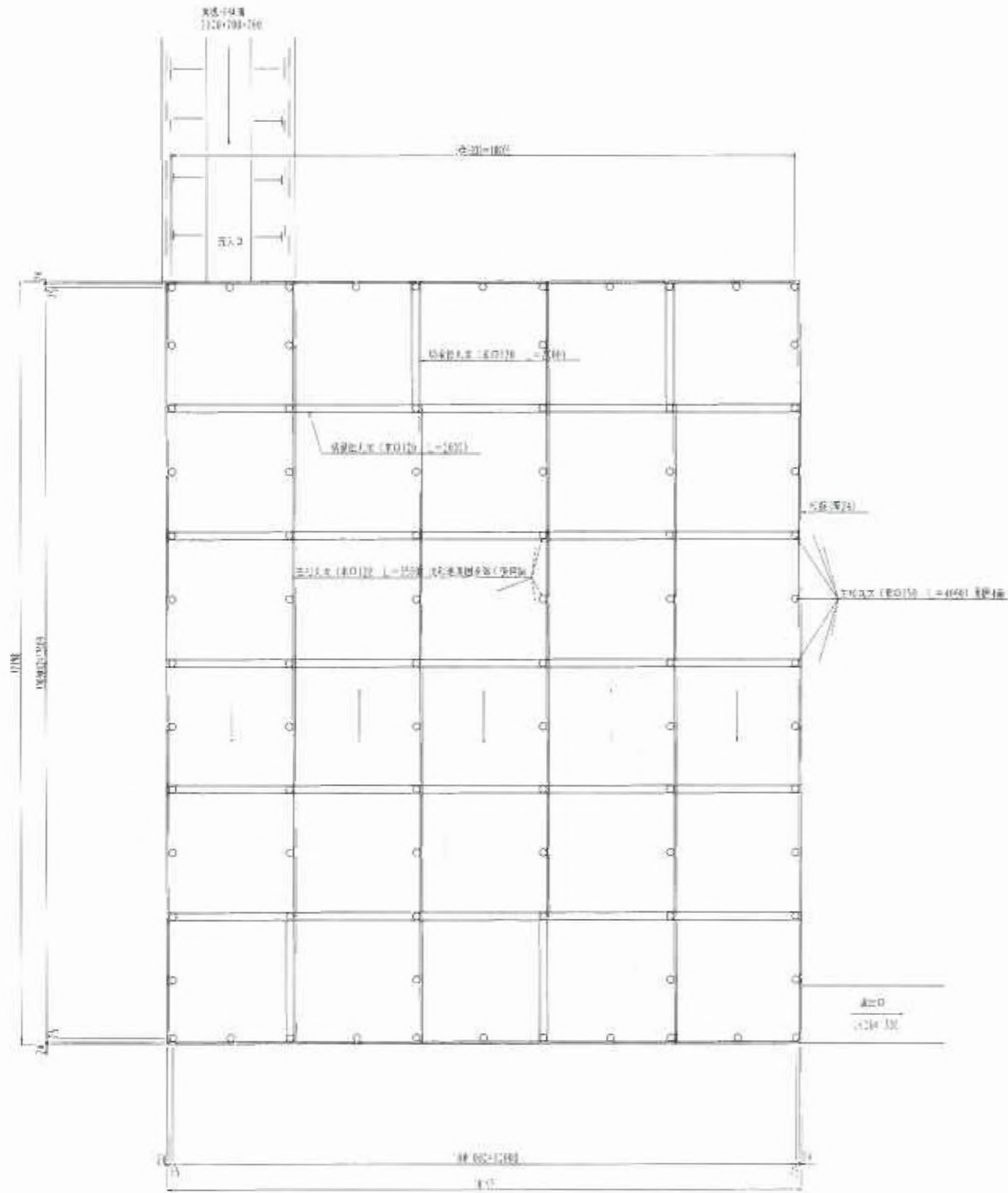
凡例

記号	名称
——	開発区域界
——	溝掘り計画
——	土のう・延長
——	U型溝溝

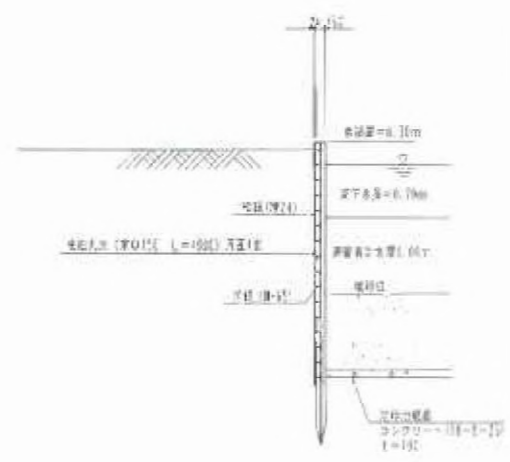


熱海市伊豆山分譲計画	
所在地	熱海市伊豆山宇嶽ヶ 外池先
区画名称	防災工事計画平面図
縮尺	S=1:500 区画番号
作成年月日	平成 18 年 1 月
作成者	[Redacted]

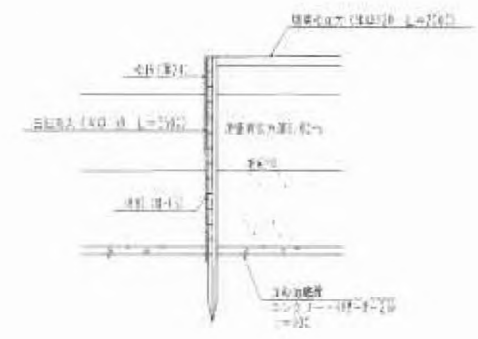
沈砂池構造図 S=115



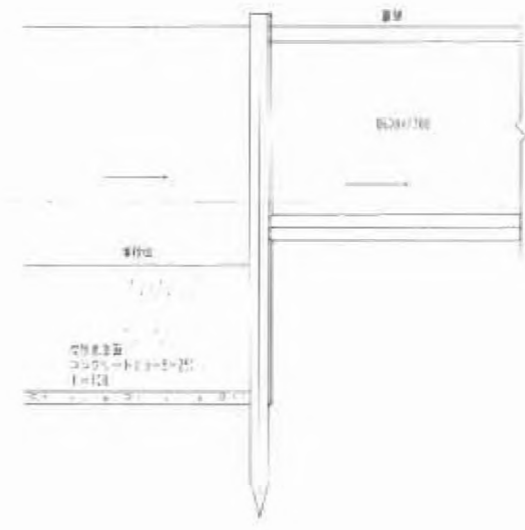
外仕切板柵詳細図 S=115



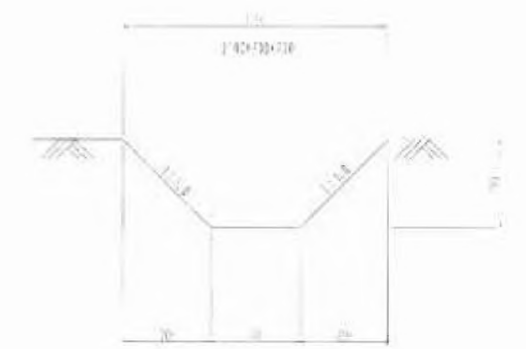
内仕切板柵詳細図 S=115



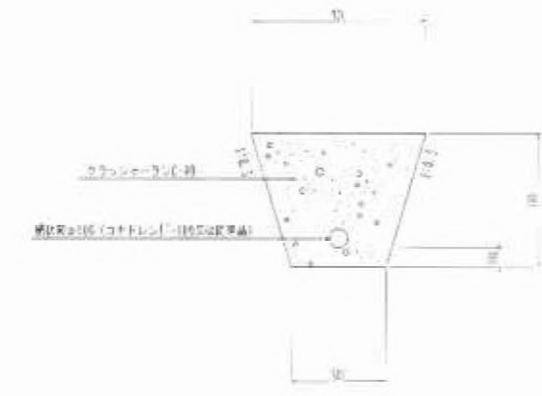
流出部詳細図 S=115



素組み側溝詳細図 S=115

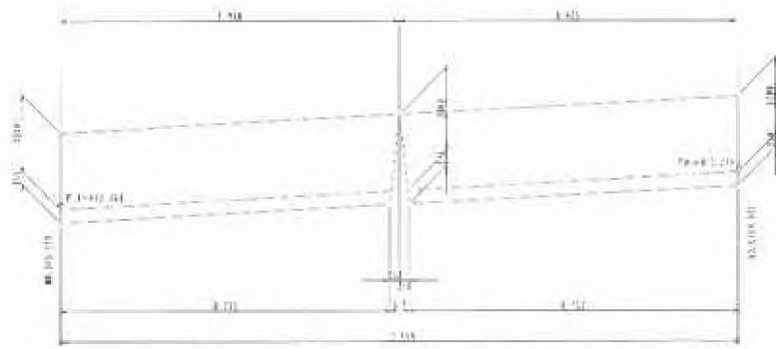


地下配水管敷設詳細図 S=115

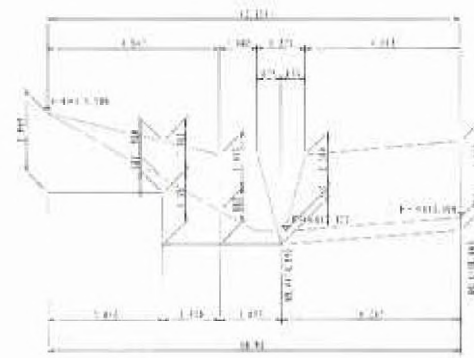


熱海市伊豆山分譲計画			
所在地	熱海市伊豆山字伊豆山分譲地先		
図面名称	防災施設構造図		
縮尺	図示	図面番号	
作成年月日	平成18年1月		
作成者	[Redacted]		

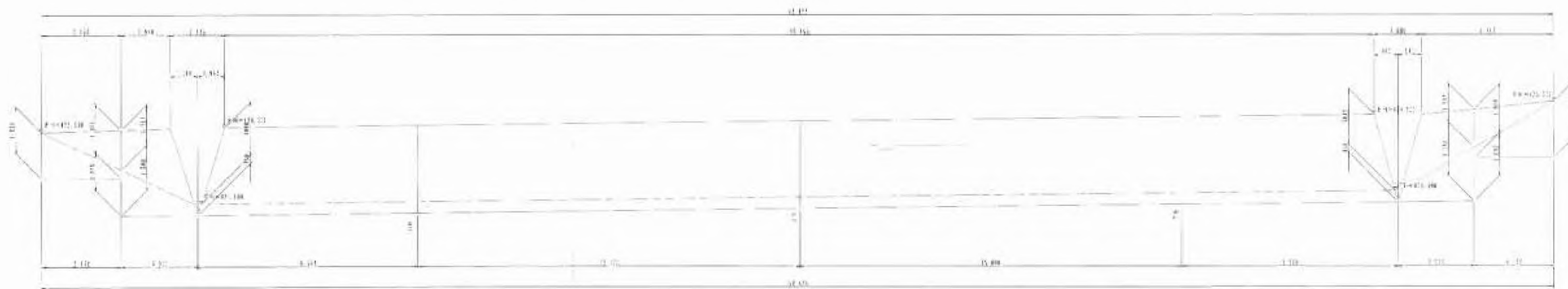
⑦ コンクリートブロック積擁壁
3分擁壁



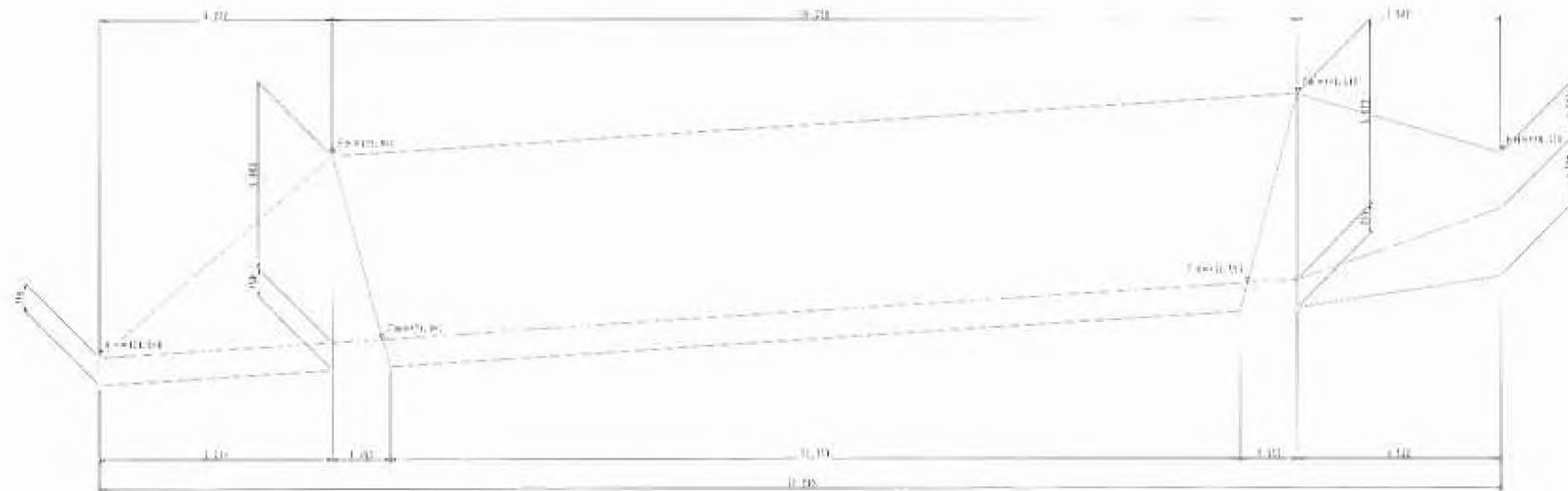
⑧ コンクリートブロック積擁壁
3分擁壁



⑨ コンクリートブロック積擁壁
3分擁壁



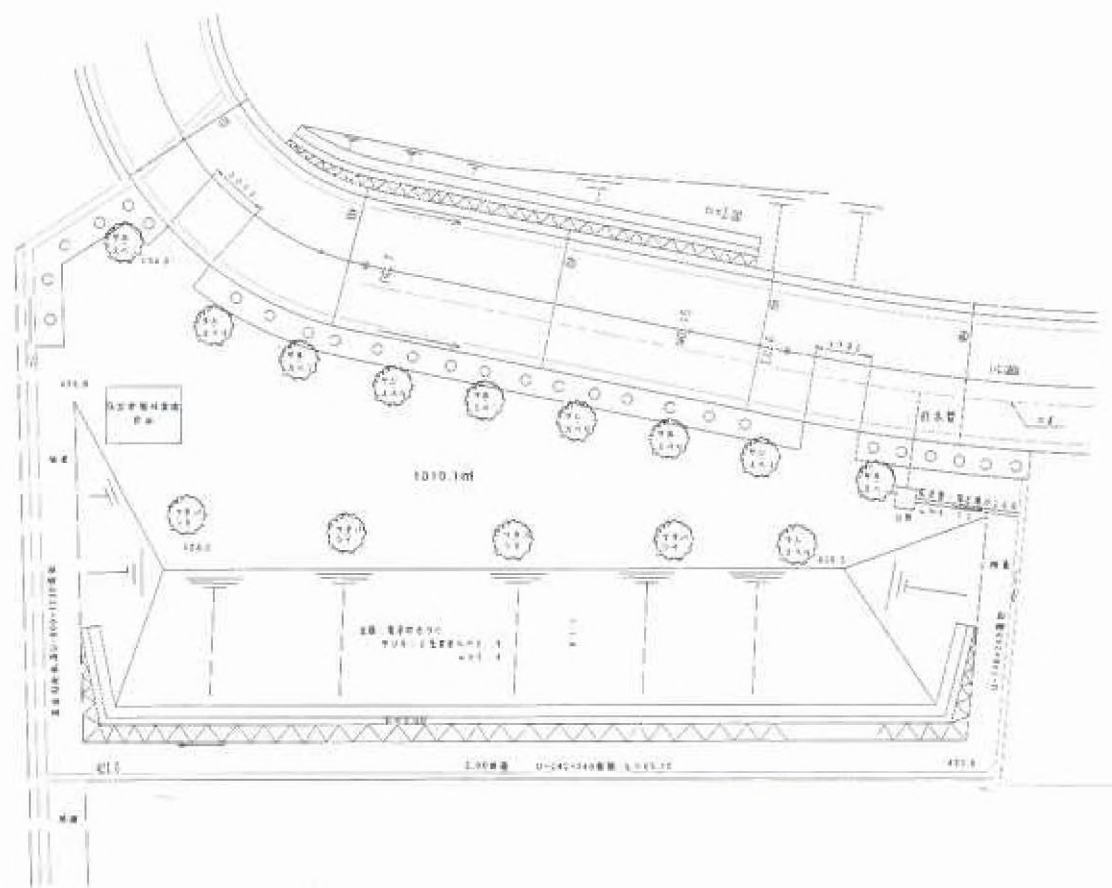
⑩ コンクリートブロック積擁壁
3分擁壁



熱海市伊豆山分譲計画	
所在地	熱海市伊豆山字城ヶ原 〇〇地先
地番名称	ブロック積擁壁取囲田(7)
縮尺	50:100 図番番号
作成年月日	平成 18 年 2 月
作成者	〇〇〇〇〇〇



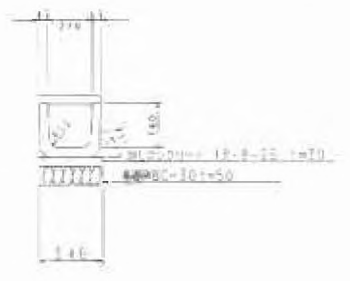
平面圖 S=1:200



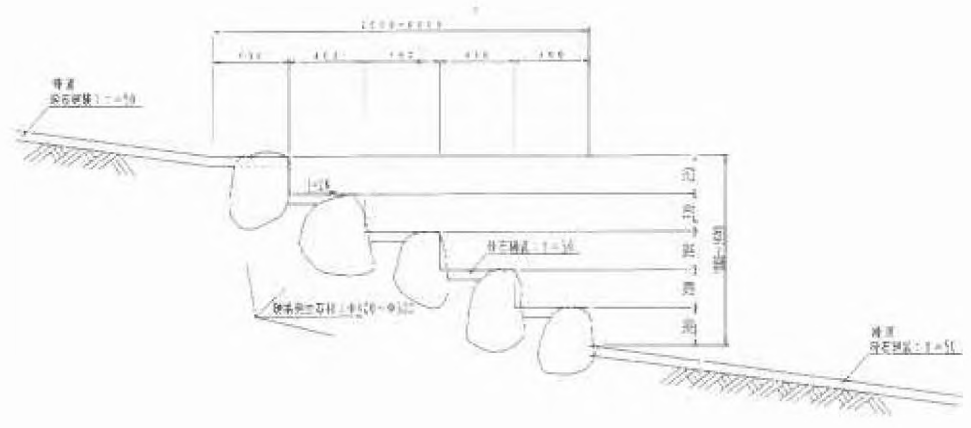
記号	内容
○	300mm
○	400mm (400mm x 400mm)
○	400mm (400mm x 400mm)
○	500mm x 700mm (1000mm x 700mm x 400mm)
○	500mm x 700mm

注) 寸法は必ずしも、右の寸法に適合する。
また、寸法は、必ずしも、寸法に適合する。寸法は、必ずしも、寸法に適合する。
また、寸法は、必ずしも、寸法に適合する。

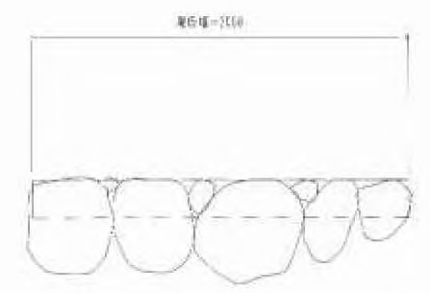
U型排水溝 S=1:20
(JIS A 5323)



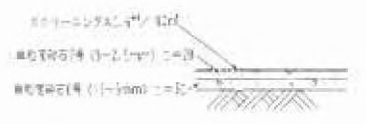
埋設路盤断面図 S=1:20



階段加工断面図 S=1:20

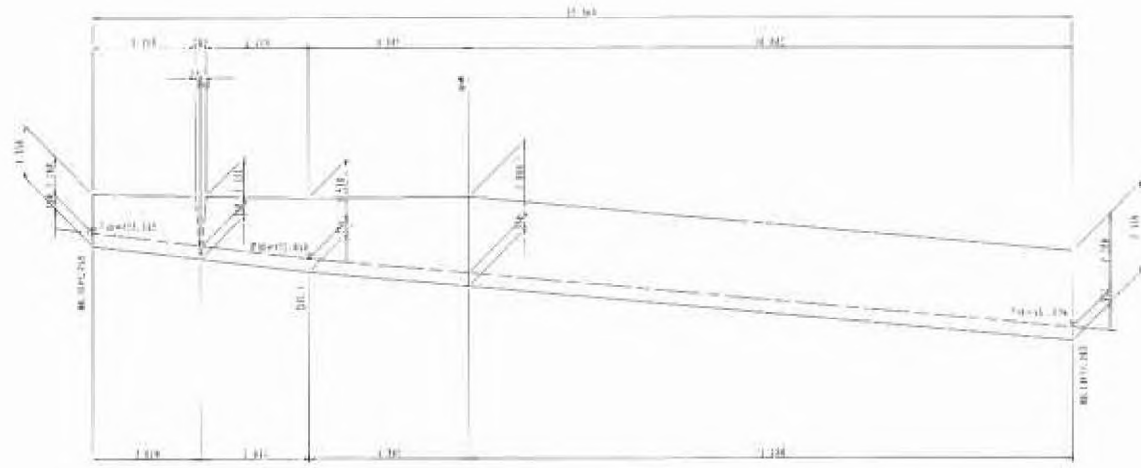


縁石設置状況図 S=1:20

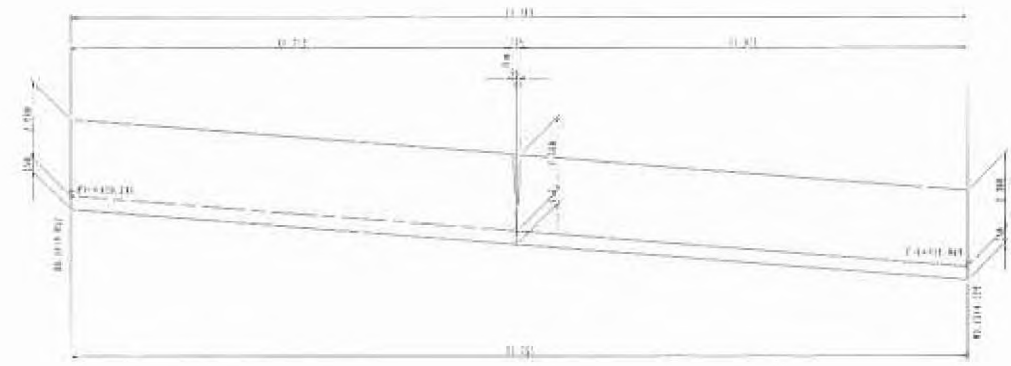


新潟市伊豆山分譲計画	
所在地	新潟市伊豆山分譲計画 伊豆山
区画名称	伊豆山分譲計画
図号	伊豆山分譲計画 伊豆山
作成日	平成 11 年 11 月
作成者	[Redacted]

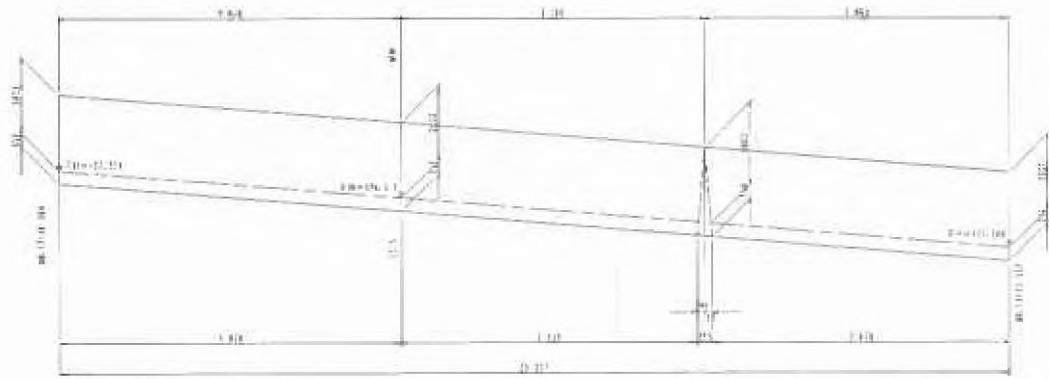
① コンクリートブロック積擁壁
3分擁壁



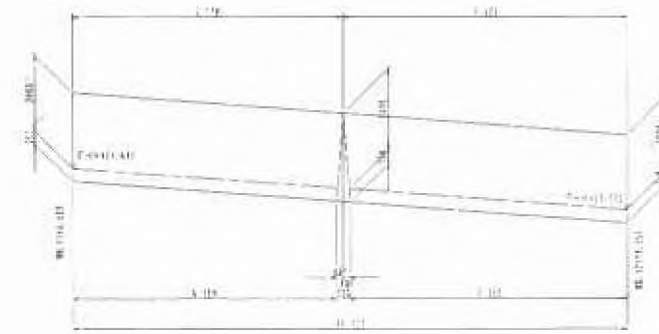
② コンクリートブロック積擁壁
3分擁壁



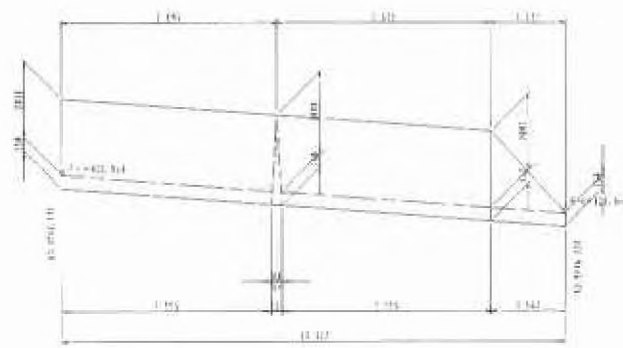
③ コンクリートブロック積擁壁
3分擁壁



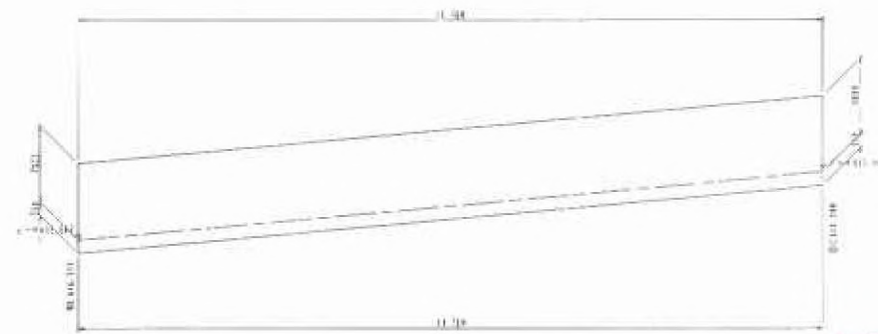
④ コンクリートブロック積擁壁
3分擁壁



⑤ コンクリートブロック積擁壁
3分擁壁



⑥ コンクリートブロック積擁壁
1分擁壁



熱海市
許可
濟
(都市計画法による開発行為)
建築地内行為
(建築法を受けるときは本書を
提出して下さい)

熱海市伊豆山分譲計画	
所在地	熱海市伊豆山字〇〇〇〇
図面名称	ブロック積擁壁取付図(1)
図尺	1:50
作成年月日	平成18年7月
作成者	〇〇〇〇



凡例

記号	説明
○	建設中地
○	建設予定地
○	道路幅員・歩道
○	電線管溝・下水道管溝 の位置
○	コンクリートブロック塀 の位置・高さ
○	防犯カメラ・防犯灯位置
○	防火線
○	防火区
○	道路幅員計測



緑地率表

種別	面積㎡	%	補遺
開発区域	19992.84	100.000	
緑地帯	5537.9	27.70	緑地帯：4934.2㎡ 植栽：603.7㎡
造成面積	4454.9	22.30	



静岡市伊豆山分區計画	
所在地	静岡市伊豆山分區計画
図面名称	建設区域境界線計画図
縮尺	5:1000
作成年月日	平成 28 年 1 月
作成者	[Redacted]



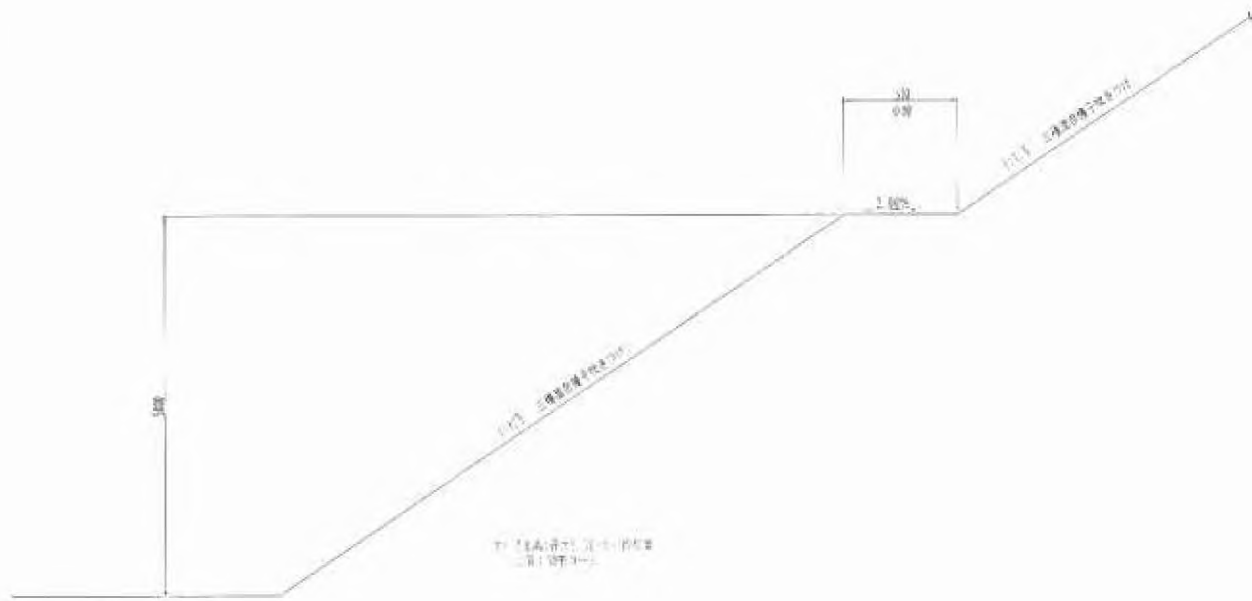
凡 例

1	建築平面
2	道路平面
3	排水計画
4	電気計画
5	ガス計画
6	その他
7	その他
8	その他
9	その他
10	その他

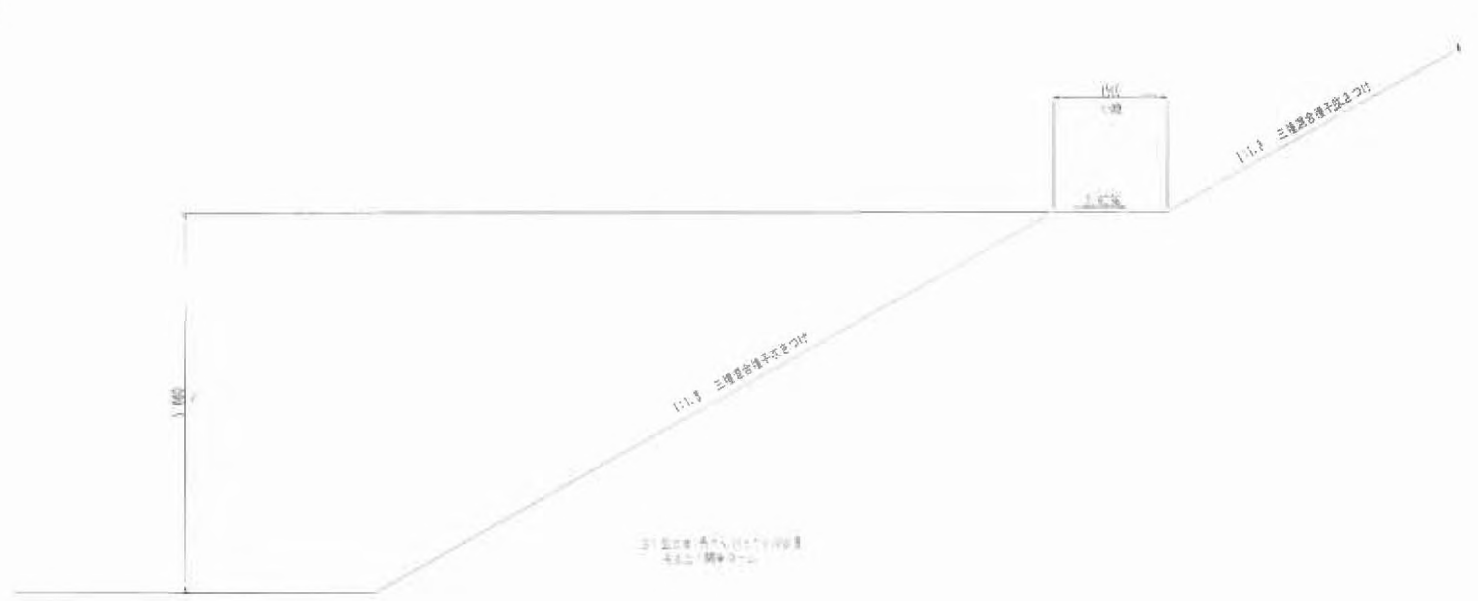


熱海市五山分譲計画	
所在地	熱海市五山分譲地
図面名称	建築平面
縮尺	1/1000
作成日	平成 10 年 1 月
作成者	〇〇〇〇〇〇

切土法定規区 500/100

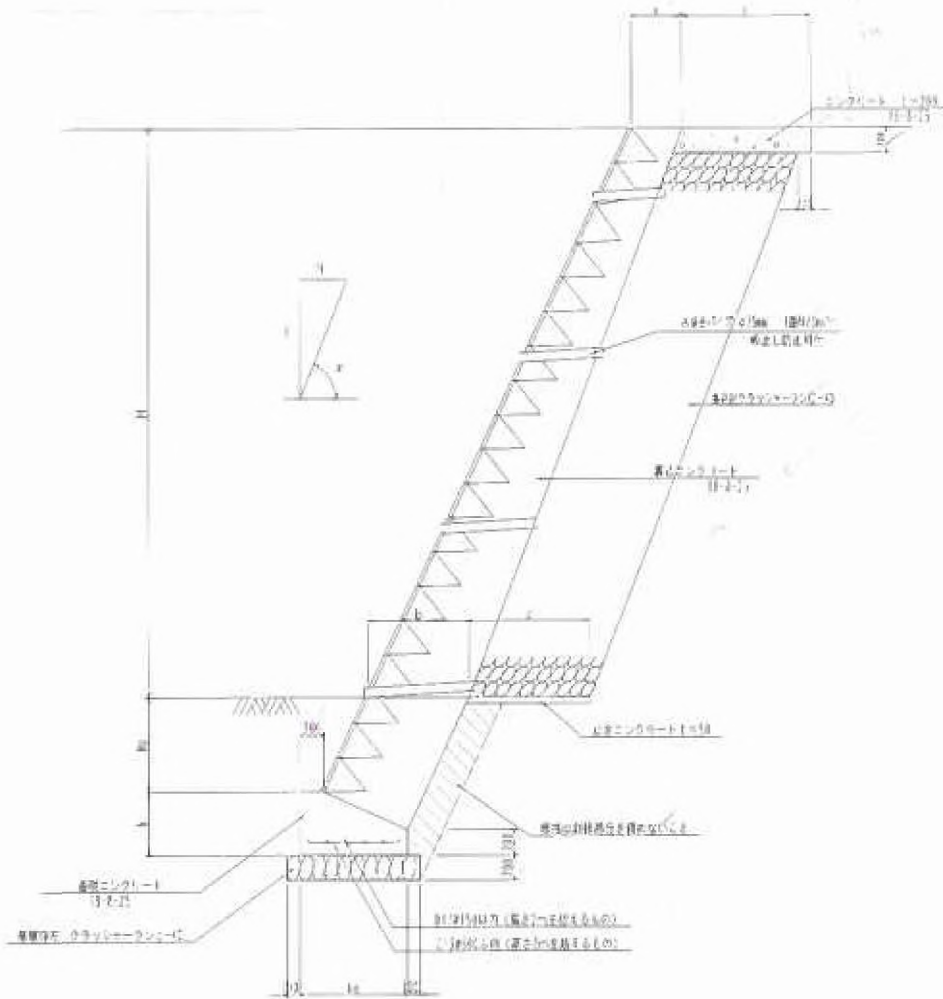


盛土法定規区 500/100



コンクリートブロック積擁壁構造図

標準断面図 500/100



寸法表

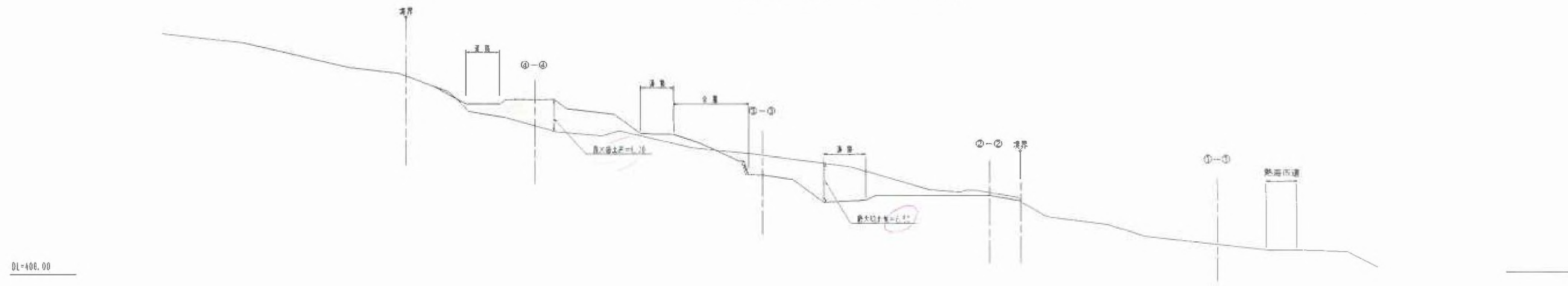
断面形状 a H	傾斜角α						表土厚み		埋込土 深さ mm
	0.5 (15° ≤ α < 30°)		0.4 (30° ≤ α < 45°)		0.3 (45° ≤ α)		表土	埋土	
1r ≤ 2m	40	100	40	150	40	40	10	5	350
2r < - 3m	40	100	40	150	40	50	10	5	450
3r < - 4m			40	150	40	50	10	5	450
4r < H ≤ 5r					40	30	10	5	350

注1 埋込土厚の寸法は、図表から算出して、100mm単位に丸め、
埋込土厚目盛 = H/100 とする。

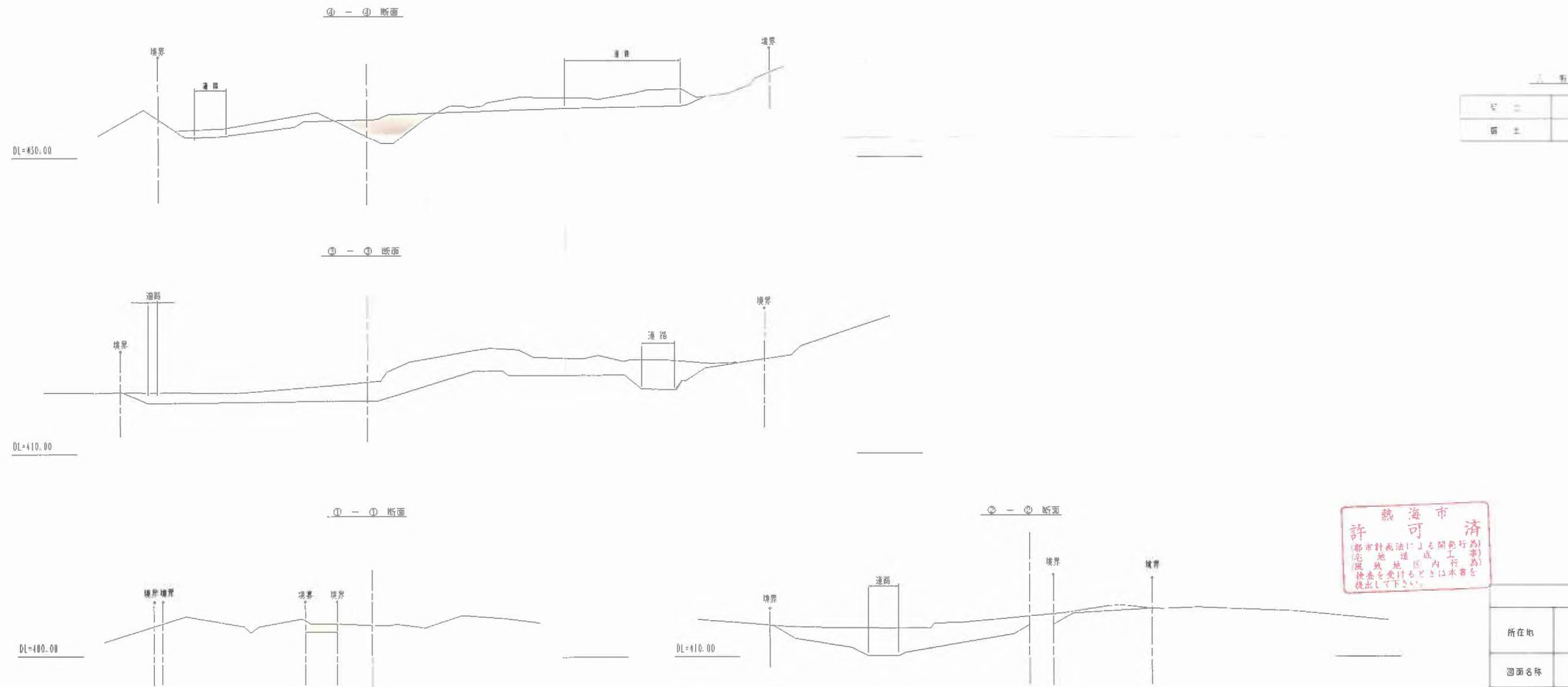
許 熱海市 濟
(都市計画法による開発行為) 他地区内行為) 申請を受ける場合は本署を提出して下さい。

熱海市金山分譲計画	
所在地	熱海市金山分譲計画
区画名称	金山分譲計画
縮尺	1/1000 図面番号 7
作成年月日	平成 15 年 1 月
作成者	熱海市建設課

縦断面図



横断面図



凡例

区画	
区画	

熱海市 許可 濟
 (都市計画法)による開発行為
 (宅地造成等内行)として
 申請を受けるときは本書を
 提出して下さい。

熱海市伊豆山分譲計画	
所在地	熱海市伊豆山字嶺ヶ 地先
図面名称	造成計画断面図
縮尺	S=1:500 図面番号
作成年月日	平成 18年 1月
作成者	



凡例

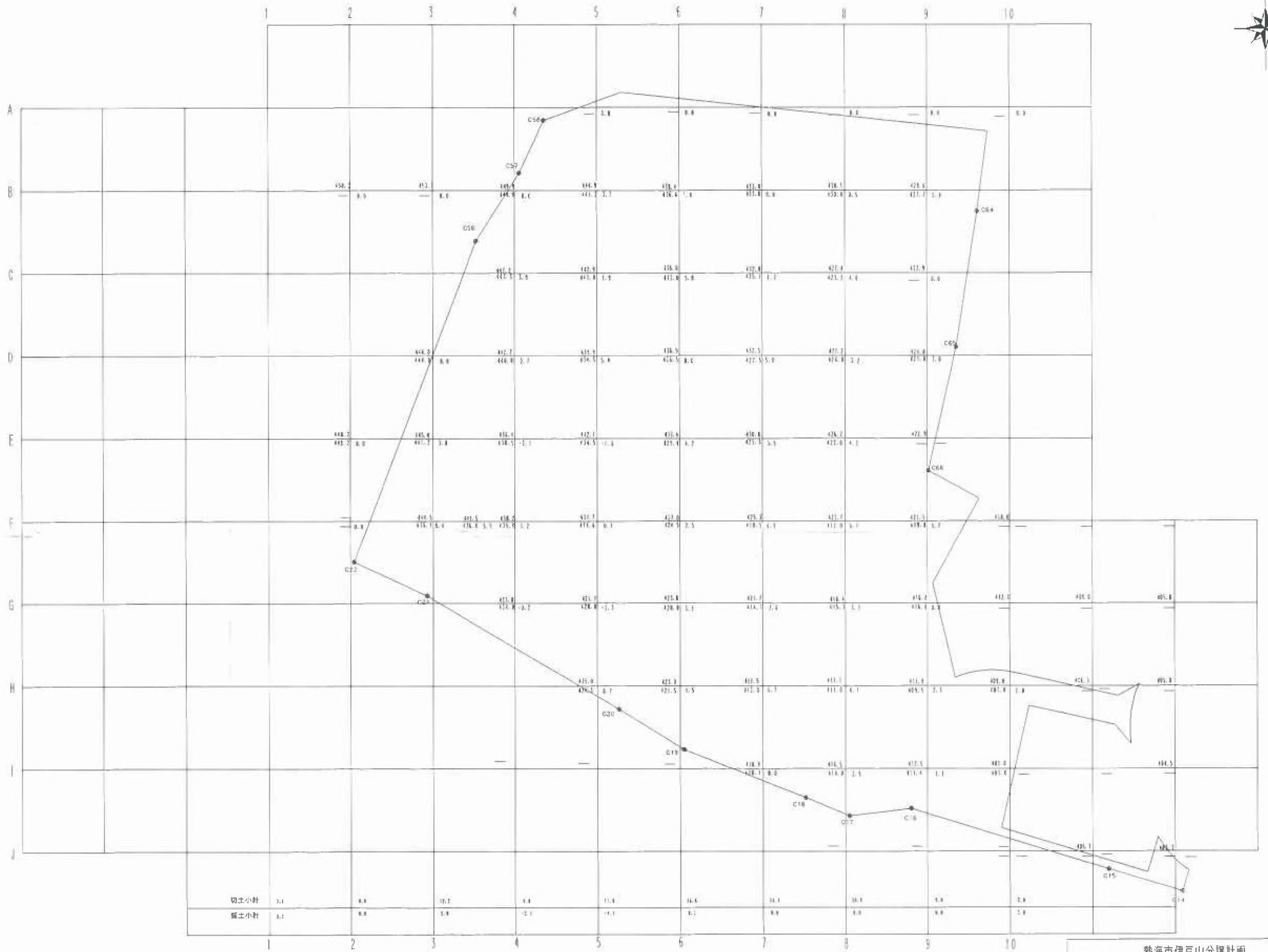
現況高

416.4
417.2 5.4

造成計画高

切・盛土高=現況高-造成計画高
(-は盛土を示す)

注) 格子間距離=10m
土量 1m³=切・盛土高×10×120m (480m²)

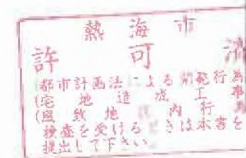


切土高合計=140.8m
盛土高合計=6.4m

切土量=56320m³
盛土量=2560m³

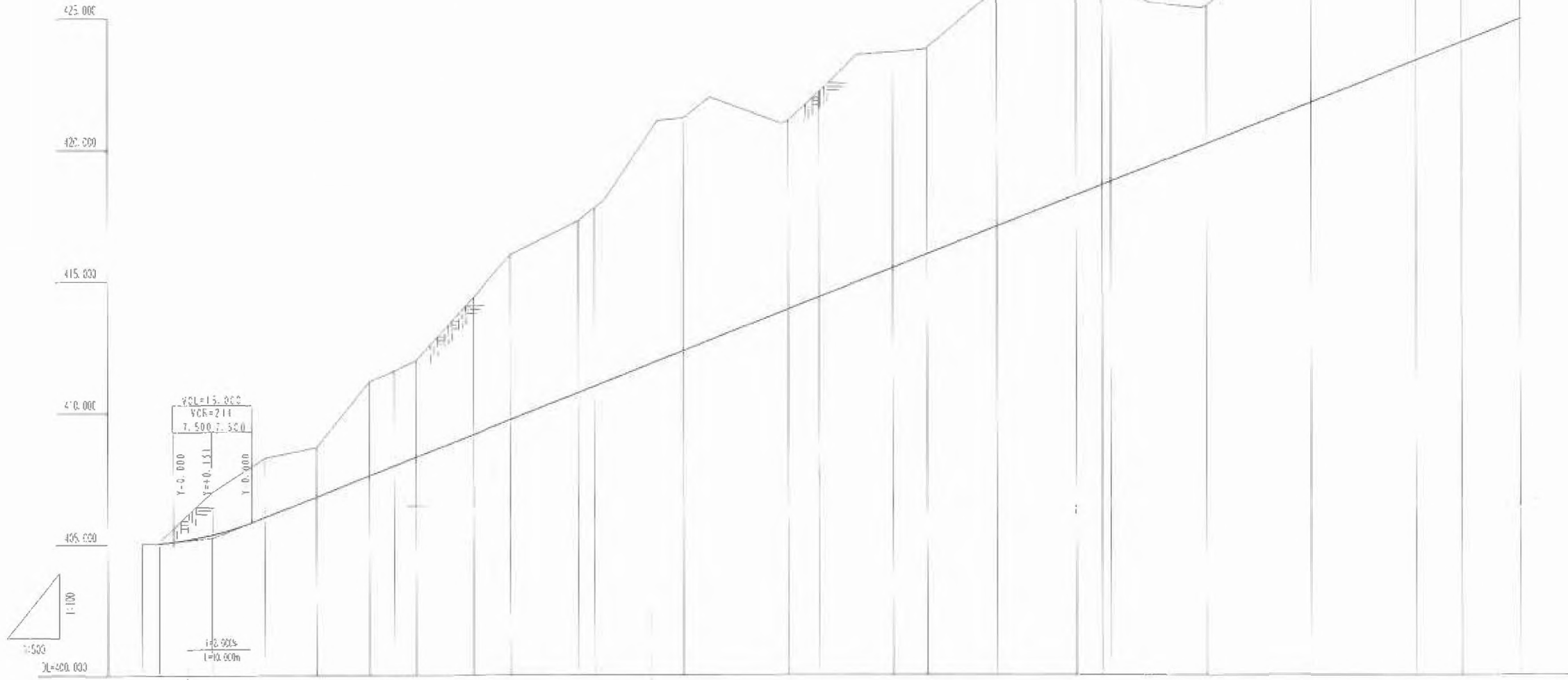
熱海市伊豆山分譲計画

所在地	熱海市伊豆山字岩ヶ 外地区		
図面名称	土量計算図		
図尺	S=1:500	図面番号	
作成年月日	平成 13 年 月		
作成者	[Redacted]		



道路縦断図 (1)

縦断: 1:100
横断: 1:500



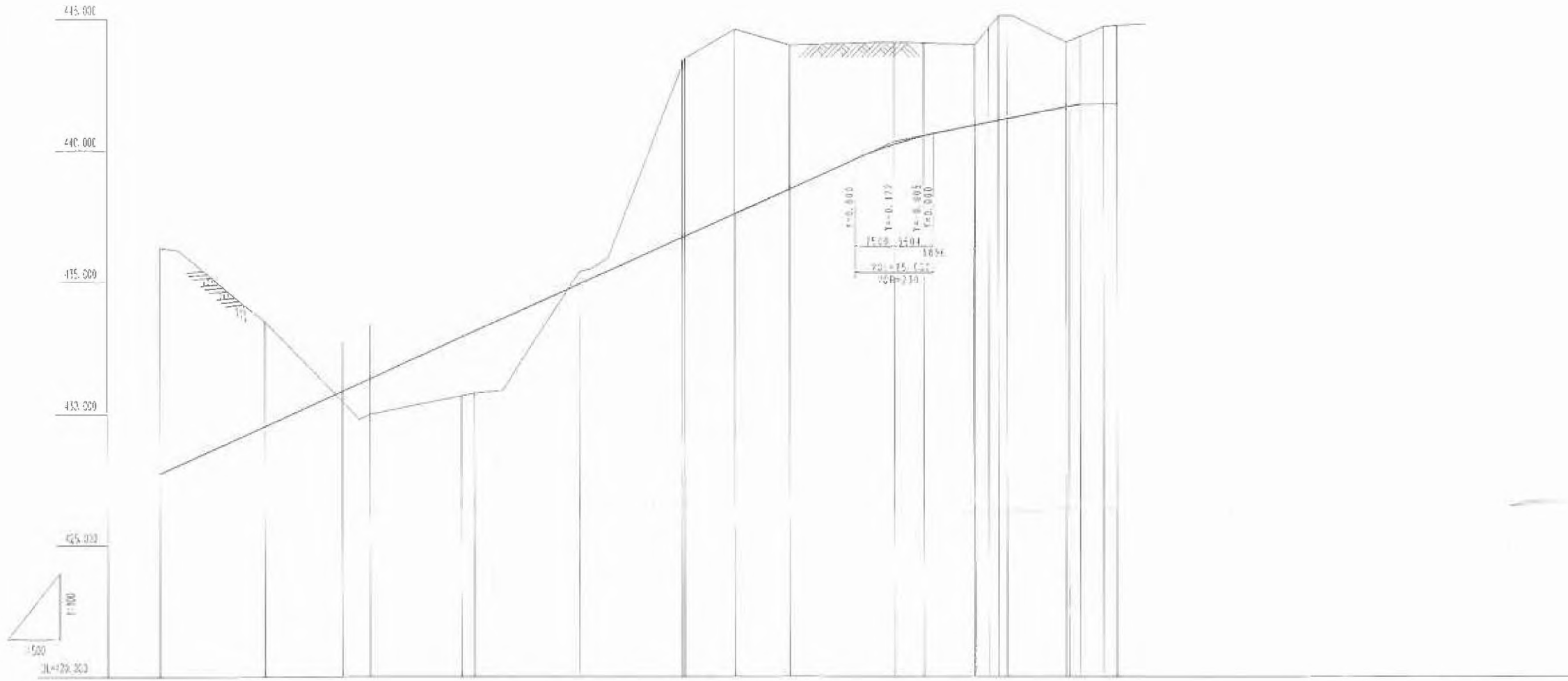
勾配	±0.040	±0.040	±0.240											±0.000	±0.000
盛土															
切土															
計画高															
地形高															
追加距離															
降下率															
距離															
曲線															

熱海市
許 可 済
(都市計画法による開発行為)
(道路敷地内)
(建設業法による建設行為)
提出して下さい。

熱海市伊豆山分譲計画	
所在地	熱海市伊豆山字敷、 XXXXXXXXXX 地先
図面名称	道路縦断図 (1)
縮尺	S=1:500 / 1:100 図面番号
作成年月日	平成 18 年 1 月
作成者	XXXXXXXXXX

道路縦断面図(2)

縮尺: 1/500
 縮尺: 1/500



勾配	1:0.999 1:0.999		0.440	1:2.500 1:2.500
第二		1.05	0.94	4.97
第三				1.74
第四	0.25 0.44	0.96		
計画高	427.700 427.750	425.540	424.540	426.692 426.740
地盤高	436.3 435.2	432.5	437.3	444.6 444.5
追加工距離	266.000 266.200	280.000	240.000	358.485 361.000
平面距離	1.557 1.200	15.800	20.000	19.465 0.535
測点	400.13 400.14	400.14	400.17	400.18 400.19
曲線	R=100.00 E=0.000 L=20.000		R=100.00 E=0.000 L=20.000	



熱海市伊豆山分譲計画	
所在地	熱海市伊豆山字嶽分譲地
図面名称	道路縦断面図(2)
縮尺	S=1/500 / 1/100 図面番号
作成年月日	平成18年1月
作成者	

貯水タンク
3.00m×3.00m×3.00m
貯水容量: 2700
貯水圧力: 0.15



凡例

記号	名称
○	貯水タンク
○	ポンプ
○	配管
○	弁
○	検針管
○	消火栓
○	マンホール
○	雨水管
○	給水管
○	排水管
○	電気配線
○	ガス配線
○	その他

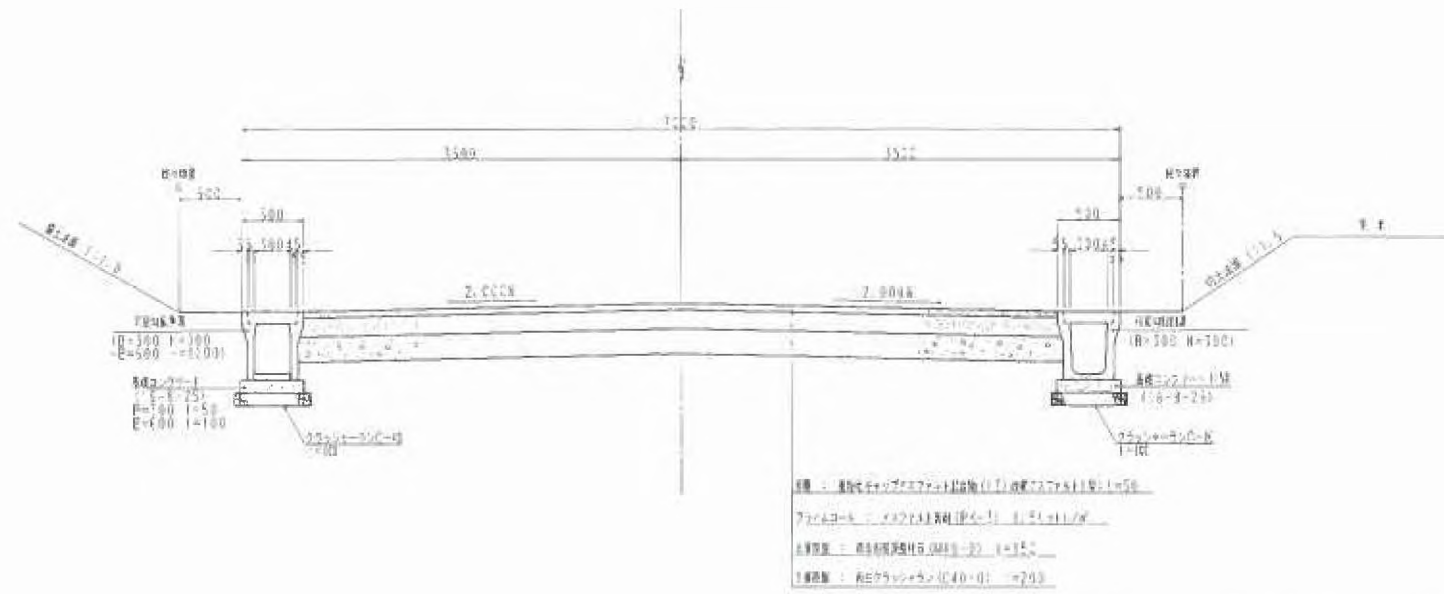
受水塔
2.00m×2.00m×2.50m
ポンプ2台設置
自動相互運転



熱海市伊豆山公園計画	
所在地	熱海市伊豆山公園内
図面名称	給水施設計画図
縮尺	1:500
作成年月	平成 15 年 1 月
作成者	〇〇〇〇〇

熱海市 許可
（新市計画法による開発行為）
（建築地区内で行な）
（種別を交付する場合は本署を
提出して下さい。）

道路標準横断面图 S=1.3%

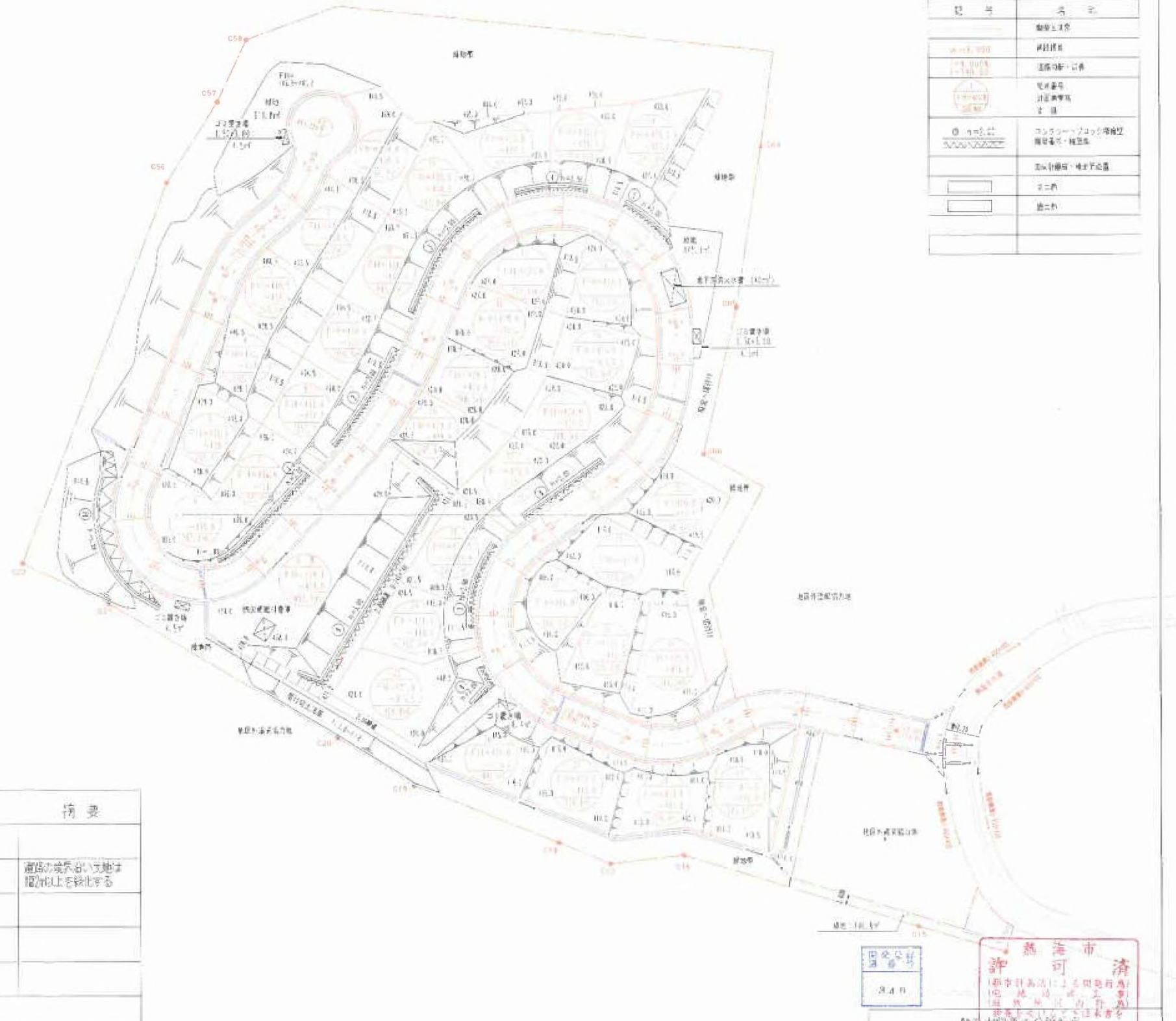


日照市伊豆山分譲計画	
所在地	日照市伊豆山分譲地 〇〇〇〇
図面名称	道路標準断面图
縮尺	S=1:3% 図面番号
作成年月日	平成 18 年 1 月
作成者	〇〇〇〇



凡例

■	敷地境界
○	道路境界
△	境界点
□	境界点
○	境界点
○	境界点
○	境界点
○	境界点



土地利用表

種別	面積 m ²	%	備考
建築面積	1992.24	10.00	
毛地	9531.1	45.47	道路の境界ない土地は 幅2m以上を換化する
道路	3265.7	16.45	
線道	243.7	1.25	
公園	1610.1	8.05	
緑地	603.7	3.02	
緑地帯	4934.2	24.68	法守等を勘
コニ置き場	13.9	0.10	4 箇所

公園緑地= 109.1603.7=16.32% (→5.07%)
 緑地帯(緑地山林を含む)= 4934.2 (→24.68%)
 緑地帯= 5.07-24.68= 37.75% (→69.2%)

建築面積=1992.24m²
 毛土面積=1331.6m²
 緑地山林面積= 2897.54-1992.24=1405.30
 =40.66%

熱海市 許可

熱海市建設部 建築課

市長 熱海市 〇〇〇〇

副市長 〇〇〇〇

建設部長 〇〇〇〇

建築課長 〇〇〇〇

〒130-0000 熱海市 〇〇〇〇

電話 〇〇〇〇-〇〇〇〇

ファクス 〇〇〇〇-〇〇〇〇

建設部 〇〇〇〇-〇〇〇〇

建築課 〇〇〇〇-〇〇〇〇

建築課 〇〇〇〇-〇〇〇〇



本計画は1:5000の縮尺で300坪程度の敷地に、
 現在所在の敷地を1:500の縮尺で示し、
 1:500の縮尺で示す。諸図面は1:
 本計画の縮尺に準じて表示する。

記号

記号	説明
	境界線
	道路境界線
	敷地境界線
	境界線・道路
	コンクリート・アスファルト舗装 舗装種別・番号
	排水設備種別・番号 (k2) 0-100/100 1-50/50
	排水設備種別・番号 0-100/100 1-50/50
	電気の配線

居住区域
1.95ha

居住区域外
1.10ha

新築住宅分譲計画

所在地	静岡県伊豆市山手町 [REDACTED]		
建設者	株式会社 [REDACTED]		
施 工	5-11-C	建設期	5
作成年月	平成 〇 年 〇 月		
設計者	[REDACTED]		

静岡県
許 可 済
 (静岡県建設工事監督官署)
 建設工事設計書
 設計士 [REDACTED]

